

令和元年（2019年）

第3回大阪狭山市教育委員会
定例会議議事録

令和元年（2019年）7月30日 開催

大阪狭山市教育委員会

第3回大阪狭山市教育委員会定例会議議事録

令和元年（2019年）7月30日（火）

午前9時30分 開議

市役所3階 委員会室

出席委員（5名）

長谷 雄二	教育長
山崎 貢	教育長職務代理者
田川 宜子	委員
河合 洋次	委員
井上 寿美	委員

出席事務局の職員

山崎 正弘	教育部長
酒匂 雅夫	教育部理事
松本 幸代	こども政策部長
谷 義浩	教育部次長兼歴史文化グループ課長
尾島 肇	教育部副理事兼学校教育グループ課長
中森 祐次	教育部副理事兼社会教育・スポーツ振興グループ課長
北野 真也	教育総務グループ課長
寺本 芳之	学校給食グループ課長
井上 知久	子育て支援グループ課長
浜口 亮	保育・教育グループ課長
上尾 悦男	放課後こども支援グループ課長
隅田 よし子	学校教育グループ参事
酒谷 由紀子	学校教育グループ参事

書記

荒川 郁代	教育総務グループ課長補佐
平井 大地	教育総務グループ主任

議事日程

開会

教育長報告

議事

- | | | |
|------|-------|--------------------------------|
| 日程第1 | 議案第5号 | 令和2年度使用中学校教科用図書の採択について |
| 日程第2 | 議案第6号 | 令和2年度使用小学校教科用図書の採択について |
| 日程第3 | 議案第7号 | 大阪狭山市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について |
| 日程第4 | 議案第8号 | 大阪狭山市日本遺産認定検討会議設置規程について |
| 日程第5 | 報告第8号 | 大阪狭山市立中学校部活動指導員配置事業実施要綱について |

閉会

- 各グループの報告事項

教育長（長谷雄二）

それでは、令和元年第3回教育委員会定例会議を開会いたします。

なお、議事録の署名委員は、会議規則第20条第2項の規定によりまして、河合委員、井上委員を指名いたします。

教育長報告につきましては、一覧表にしておりますが、主な報告について話をさせていただきます。

教育長活動報告、7月5日、大阪府都市教育長協議会7月定例会に参加いたしました。

7月8日月曜日、地区人事協議会及び地区教育長協議会に出席いたしました。

7月19日金曜日、狭山池総合学術調査委員会に出席いたしました。

主な報告については以上でございます。

何か委員の皆様、ご質問等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、早速ですが、議事に移りたいと思います。

本日の議案でございますが、日程第1、議案第5号、令和2年度使用中学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

令和元年度使用の中学校教科用図書の採択についてですが、学習指導要領改訂により、中学校では令和3年度から新学習指導要領の教科用図書を使用するため、来年度（令和2年度）全教科で新たに教科書の採択を実施いたします。そのため、今回採択する教科用図書の使用期間は4年間ではなく、令和2年度のみ1年間だけとなります。あわせて、平成30年度の教科用図書検定において新たに検定に合格した図書がなかったため、既に調査研究を行っております平成26年度検定合格図書等の中から再度採択を行うこととなります。

採択に当たりましては、平成28年度使用中学校教科用図書採択の答申資料と、4年間の使用

実績をもとに、平成27年度に採択した教科用図書を中心に審議を進めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

教育長職務代理者（山崎 貢）

ちょっと質問いいですか。

教育長（長谷雄二）

はい、山崎教育長職務代理。

教育長職務代理者（山崎 貢）

現在使用されている中学校の教科用図書ですが、現場とかその他保護者等から何か問題があるとか、こういった点で支障があるとか、そういう話は出ていないでしょうか。

教育長（長谷雄二）

本日、選定委員長としてご出席いただいております狭山中学校校長の田中校長先生、もし現場の実態等があればご報告お願いできますか。

田中選定委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

特に問題は出ておりません。

以上です。

教育長職務代理者（山崎 貢）

ありがとうございました。

教育長（長谷雄二）

よろしいですか。

教育長職務代理者（山崎 貢）

はい。

教育長（長谷雄二）

それでは、教科ごとに審議してまいりたいと思います。

まず、国語についてです。

国語については、現在、東京書籍を使用しております。

それでは、配付しております答申資料をご覧ください、各委員からの意見を求めたいと思います。

山崎委員。

教育長職務代理者（山崎 貢）

先ほど、私の質問のほうで、現在使われている教科書は特別に問題がないということですので、4年間の使用実績も踏まえて、引き続き国語につきましては東書を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

山崎委員からご意見いただきました。東書を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、中学校国語につきましては、東京書籍を採択いたします。

引き続き、書写についてでございます。書写については、現在、東京書籍を使用しております。

各委員からの意見を求めます。

山崎委員、お願いできますか。

教育長職務代理人（山崎 貢）

書写につきましても、4年間の使用実績を踏まえ、引き続き東書を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

よろしいでしょうか。

それでは、東書を採択することにご異議ないということで、書写につきましては、東京書籍を採択いたします。

引き続き、社会（地理的分野）についてです。社会（地理的分野）については、現在、東京書籍を使用しております。

各委員からの意見を求めます。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

社会科の地理的分野につきましても、引き続き東書を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

他の委員の皆さんもご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、社会（地理的分野）につきましては、東京書籍を採択いたします。

続いて、同じく社会（歴史的分野）についてでございます。社会（歴史的分野）については、現在、帝国書院を使用しております。

委員の意見を求めます。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

歴史的分野の社会科につきましても、引き続き帝国を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

帝国の採択でご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、社会（歴史的分野）につきましては、帝国書院を採択いたします。

引き続き、社会（公民的分野）についてです。社会（公民的分野）については、現在、日本文教出版を使用しております。

意見を求めます。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

社会科の公民的分野につきましても、引き続き日文を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

日文を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、社会（公民的分野）につきましては、日本文教出版を採択いたします。

引き続き、地図についてです。地図については、現在、帝国書院を使用しております。

各委員からの意見を求めます。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

4年間の使用実績を踏まえ、引き続き帝国を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

帝国を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、地図につきましては、引き続き帝国書院を採択いたします。

続きまして、数学でございます。数学については、現在、学校図書を使用しております。

各委員からの意見を求めます。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

数学につきましても、引き続き学図を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

学図を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、数学につきましては、学校図書を採択いたします。

続いて、理科でございます。理科については、現在、東京書籍を使用しております。

各委員からの意見を求めます。

山崎委員、お願いします。

教育長職務代理人（山崎 貢）

理科につきましても、引き続き東書を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

東書の採択でご異議ございませんですか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、理科につきましては、東京書籍を採択いたします。

続きまして、音楽（一般）でございます。音楽（一般）については、現在、教育芸術社を使用しております。

各委員からの意見を求めます。

山崎教育長職務代理。

教育長職務代理人（山崎 貢）

4年間の使用実績を踏まえ、引き続き教育芸術社を採択することで特に問題はないと思いま

す。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございます。教芸を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、音楽（一般）につきましては、引き続き教育芸術社を採択いたします。

続きまして、音楽（器楽合奏）についてです。音楽（器楽合奏）については、現在、教育芸術社を使用しております。

各委員からの意見を求めます。

引き続き山崎委員、お願いします。

教育長職務代理人（山崎 貢）

器楽合奏につきましても、教芸を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございます。教芸を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、音楽（器楽合奏）につきましては、教育芸術社を採択いたします。

続いて、美術についてです。美術については、現在、日本文教出版を使用しております。

各委員からの意見を求めます。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

4年間の使用実績を踏まえ、美術につきましても、引き続き日本文教出版を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

日本文教出版を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、美術につきましては、引き続き日本文教出版を採択いたします。

保健体育でございます。保健体育については、現在、学研教育みらいを使用しております。

各委員からの意見を求めます。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

保健体育につきましても、引き続き学研を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

学研を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、保健体育につきましては、学研教育みらいを採択いたします。

続きまして、技術・家庭（技術分野）についてです。技術・家庭（技術分野）については、現在、開隆堂出版を使用しております。

委員からの意見を求めます。

山崎委員、お願いします。

教育長職務代理人（山崎 貢）

引き続き開隆堂を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

開隆堂を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、技術・家庭（技術分野）につきましては、引き続き開隆堂を採択いたします。

続きまして、技術・家庭（家庭分野）についてです。技術・家庭（家庭分野）については、現在、開隆堂出版を使用しております。

各委員からの意見を求めます。

山崎委員、お願いします。

教育長職務代理人（山崎 貢）

家庭分野につきましても、引き続き開隆堂を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

開隆堂を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、技術・家庭（家庭分野）につきましては、引き続き開隆堂を採択いたします。

最後になります。外国語（英語）についてです。外国語（英語）については、現在、三省堂を使用しております。

各委員からの意見を求めます。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

4年間の使用実績を踏まえ、引き続き三省堂を採択することで特に問題はないと思います。

教育長（長谷雄二）

三省堂を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、外国語（英語）につきましては、三省堂を採択いたします。

それでは、各種目の採択結果について確認を行います。

中学校教科用図書につきましては、国語、東京書籍、書写、東京書籍、社会（地理的分野）、東京書籍、社会（歴史的分野）、帝国書院、社会（公民的分野）、日本文教出版、地図、帝国書院、数学、学校図書、理科、東京書籍、音楽（一般）、教育芸術社、音楽（器楽合奏）、教育芸術社、美術、日本文教出版、保健体育、学研教育みらい、技術・家庭（技術分野）、開隆堂出版、技術・家庭（家庭分野）、開隆堂出版、外国語（英語）、三省堂。

以上でございます。よろしいでしょうか。

それでは、引き続きまして、日程第2、議案第6号、令和2年度使用小学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

結構長時間の採択の議論になると思います。関係課長はもちろんですが、もし所管のグループ課長で所要があれば途中退席も可能ですのでよろしくをお願いします。

それでは、まず、大阪狭山市立小学校教科用図書選定委員会の田中委員長から答申及び経過説明を願うわけですが、委員の皆様にはあらか

じめ答申の資料や教科書を十分ご覧いただいております。したがって、おおむね本市の子どもたちにどのような教科書がふさわしいのかについて、既に各委員の皆様にはイメージを持っていただいているというふうに思います。

それでは、ただいまから田中選定委員長より答申の説明をいただき、その後、採択に係る重要なポイントについてのご質問やご意見を委員の皆様から頂戴したいと思います。

また、選定委員長の説明につきましても、選定時において最も重視した要素を簡潔に述べていただくようよろしくお願いします。

それでは、田中選定委員長からの説明を求めます。

田中選定委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

今回の教科用図書採択につきましては、13種目にそれぞれ3名の調査員を任命し、各調査委員会において十分な研究協議の上、調査研究資料を作成し、選定委員会へ提出していただきました。

選定委員会では、小学校校長会代表、中学校校長会代表、小学校教頭会代表、保護者代表に教育委員会事務局を加えた7名によりまして、4月16日に採択の方針等を確認し、6月13日及び6月17日の2回にわたって、各教科調査委員会より報告を受けた調査研究資料をもとに議論いたしました。そして、本市の子どもたちにとってより望ましい教科書を選んでいただくために資料を作成させていただきました。

以上がこれまでの経過でございます。

答申させていただきます。

令和元年7月30日、大阪狭山市教育委員会様。
大阪狭山市立小学校教科用図書選定委員会委員長、田中典子。

令和2年度使用小学校教科用図書の採択について（答申）。

令和2年度使用小学校教科用図書の採択に関し、国語、書写、社会、地図、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、保健、英語、道徳の13種目について、別紙資料のとおり答申します。

教育長（長谷雄二）

お疲れさまでした。ありがとうございました。

今、選定委員長より答申をいただきました。

それでは、随時選定委員長のほうから教科ごとに説明をお願いしたいと思います。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

これより、調査員会を経て選定委員会でまとめました各種目の教科用図書について、答申資料に沿って報告いたします。

まず、国語について報告いたします。

学習指導要領では、「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成すること」を目指しています。

このことを踏まえ、各社とも「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動において、課題解決的な学習に取り組むことで、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことができるように工夫されています。また、多様な学習活動を効果的に行うことができるように、発達段階に応じた言語活動の場が設定されています。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元にありますが、例えば、東書では、スピーチやメモ、原稿の書き方など、言語活動の具体例が豊富に掲載されている点など、学図では、各学年で「読書の部屋」というコーナーを設けて本を紹介するとともに、読書を促す教材も掲載されている点など、教出では、巻末で学習の重点や用語が整理されており、振り返って学習する場合などに活用できる点など、光村では、教材文の後に、「見通しをもとう」というコーナーで、学習過程が見開きで掲載されている点などが挙

げられます。

他の特徴につきましては、資料でございますのでご覧いただきたいと思ひます。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございます。

それでは、前もって各委員の皆様には教科書も見ていただいておりますが、今、報告がありました答申資料もご覧いただき、各委員からの意見を求めます。いかがでしょうか。

山崎教育長職務代理者。

教育長職務代理者（山崎 貢）

どの教科書も、見せていただいたら、読書活動については非常に以前の教科書に比べて充実してきております。その中でも東京書籍の読書活動の取扱いが大変充実しておって、1年生の下巻の24ページですか、1年生の場合は本棚というのがありますけれども、各学年、全学年で「ほんはともだち」というようなコーナーを設けておまして、それぞれ発達段階に応じて、著名な作家による読書の啓発、コラムとかお勧め図書が紹介文とともに掲載されております。数えてみましたら、1年生から6年生まで合計508冊の図書が紹介されております。

読書活動の推進は本市の重点課題でもありますし、児童が読書に親しむため、このような工夫は大変大切だと考えております。

以上です。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

光村も読書活動の取扱いが充実していました。1年生の下巻の124ページです。こちらは付録です。「この本、よもう」、「本のせかいを広げよう」と紹介文でも児童の興味を引くような紹介文を掲載していますし、発達段階に応じた適切な本を紹介しています。私も数えましてけ

れども、1年生から6年生、合計456冊、非常に多くの本が紹介されておりますので、読書活動については光村も充実していたんじゃないかと思ひます。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。

山崎委員。

教育長職務代理者（山崎 貢）

大阪狭山市の児童は、全国の学力・学習状況調査の結果から、ちょっと書くことについて課題が見られると各学校から聞いております。国語の授業でしっかりと書く力を身につけてほしいと思ひます。

そういった点で、ノートづくりについては東書が充実してまいりましたし、2年生、上の26ページをご覧ください。「こくごのノートのつくりかた」、これは各学年、やはり同じようにこういった国語のノートのつくり方コーナーを設けて、書く活動の充実につなげている。非常にきめ細かくノート指導については取り扱っている。発達段階を追うごとに、児童が大事な文や言葉をもとに自分の考えを書く力を身につけられるのではないかと、そういう点で大変工夫されております。

そこで、国語科では、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの領域がありますけれども、書くことについての各社の取扱いはどうなっているのでしょうか。ちょっと教えてください。

教育長（長谷雄二）

田中選定委員長にお答えいただく前に、今、山崎委員のほうから全国学力・学習状況調査の結果について、本市に課題があるということで、実は先週金曜日に全国学力・学習状況調査の結果が速報値で国から各都道府県、市町村に伝達されました。また後で報告はさせていただきますと思ひますが、非常にどの教科についても全国平均よりも上という結果は出ておるんですが、

国語については若干、委員おっしゃったように課題があるということで、今回選んでいただく教科書についてもぜひ慎重にと思っております。すみません、余談になりました。

田中委員長、よろしく申し上げます。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

書くことの領域につきましては、東書では、6年生で例えば「世界に目を向けて意見文を書こう」という教材で、資料がまとめて提示され活用しやすいこと、学図の6年生も「日本の魅力、再発見」という教材で資料を用いて説得力のある文章をつくるようにしていること、また、教出では、宮沢賢治の作品から関連する内容について読書新聞をつくること、光村では、6年生で日本の文化をパンフレットにまとめて発信するなど、各社ともそれぞれ工夫されておりました。

書くことの領域を扱っている各社の全学年の合計ページ数を比較しましたら、東書が1,007ページと最も多くなっております。

以上です。

教育長（長谷雄二）

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

ありがとうございました。ほかの教科書会社と比較しても、東書が書くことの領域をたくさん扱っているということがわかりました。ありがとうございます。

教育長（長谷雄二）

ほかの視点で。

田川委員、申し上げます。

教育委員（田川宜子）

ちょっと原稿用紙の使い方というところに着目してみたんですけれども、東書は、原稿用紙の使い方についても丁寧に扱っているなと思いました。2年の上の150ページなんですけれども、ちょうど「原こう用紙のつかい方」と

いうページがありまして、今現在、教育現場でベテラン教員の方が少なくなっていて、経験年数が少ない教員の方が増えていると思うんです。

教科書で具体的に原稿用紙の使い方について記載があるほうが、先生方も授業を進めやすいと思います。指導内容についてもきめ細かく記載してある教科書のほうが使いやすいのではないかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

井上委員、申し上げます。

教育委員（井上寿美）

東書の5年生の183ページをご覧いただきたいんですけれども、別にこのページじゃなくてもいいんですが、東書はすごく視覚的なバリアフリーに配慮されているなということを感じました。例えば今申しあげました183ページですけれども、お猿さんのマークがございます。そのマークの下に「残雪に対する大造じいさんの心情は、どのように変化したのだろう。大造じいさんは、どのような人物だといえるのだろう」というように学習の見通しが示されています。

各単元で学習の見通しをつかむポイントの箇所にはお猿のマークが使用されているので、いろんな配慮が必要な子どもたちにとっても、とてもわかりやすく学習過程が示されているのではないかと思います。

教育長（長谷雄二）

ちょっと選定委員長のほうにご質問をさせてほしいんですけれども、今回の学習指導要領の改訂で、もうかなり言い古された言葉ですけれども、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり」というのが非常に重視されているわけなんですけれども、各社の学習過程のページというのはどのようになっているか、お答えぜひしてもらえますか。

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

主体的・対話的で深い学びの実現に向けましては、各社とも児童が見通しを持って学習できるように、学習の進め方が示されておりました。

東書では、「つかむ」で見通しを持ち、「ふり返る」で自分の学習を振り返り、「生かそう」で学んだことを活用できるように構成されています。

同様に学図では、「つかむ」「見方や考え方を学ぶ」「まとめる・ふり返る」「広げる」と構成されています。

教出でも、「読む」単元で「たしかめよう」「考えよう」「深めよう」「広げよう」の4ステップを示し、学習過程を可視化しています。

光村では、読む単元で「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」と示すなど、各社とも子どもにわかりやすい言葉で示されています。

以上です。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございます。

ほか、どうでしょうか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も各学年にある東書のお猿のマークを見させてもらったんですけれども、親しみやすいなと思いました。どの単元もお猿の学習過程のマークが出てくるので、児童が学習の見通しを立てやすいかなというのを、マークを通して思いました。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございます。

井上委員が先ほど学習過程の例で話題にされた「大造じいさんとガン」、私も授業をよくやりましたけれども、全社で取り扱われている有名な教材なんですけれども、光村では5年の220ページに掲載されています。光村の「大造

じいさんとガン」は、本編の物語とともに前書きの部分も収録しておいて、物語の世界をより深く味わえるようになっていたと思いました。

今回の学習指導要領改訂では、各社とも従前より説明的な文章の取扱いが増加していますが、光村は今回も有名で力のある文学的教材を取りそろえている点が大きな魅力であると私は、ちょっと感想ですけれども、考えております。

何かその辺も含めて。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

光村なんですけれども、光村で取り扱っている文学的教材というのは、子どもの心を育てるにはとてもいいなと思いました。ただ情緒的なものが多くて、指導する先生方にちょっと高い授業力も求められるのではないかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

今、田川委員ご指摘されたとおりで、なかなか授業の組み立てについては指導力と工夫が要するというふうには私も感じております。

では、ほかどうですか。

ちょっと私のほうでまとめさせていただくと、意見がほぼ出そろったように思います。東書または光村を推すご意見のようでしたので、どちらかで決定したいと思いますが、そういうまとめでよろしいですか。

それでは、挙手にて国語の教科用図書を決定したいと思います。

東書がふさわしいとお考えの委員、挙手願います。

（賛成者挙手）

念のために、光村がふさわしいとお考えの委員は挙手願います。

（賛成者挙手）

ありがとうございます。

これによりまして、国語の教科書は東書を採

採することによって決定いたします。

続いて、書写の採択に移ります。

少し教科用図書を入れかえますので、お願いします。

では、書写についての採択に移ります。

田中委員長、ご報告をお願いします。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

では、書写について報告いたします。

各社とも文字を書く基礎となる事項につきまして、発達段階を考慮した内容になっております。ノートやはがき、手紙、原稿用紙の書き方など、日常生活や学習活動に役立つ活動が取り上げられています。また、全ての児童にとりまして使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、配色などが配慮されています。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元にありますが、例えば、東書では、「ふり返って話そう」のコーナーで、作品を見合い、話し合う活動が取り上げられている点など、学図では、「とめ」「はらい」にシールを貼り、大切な部分を楽しく意識できるよう配慮されている点など、教出では、「考えよう」「ここが大切」「生かそう」「ふり返ろう」という学習の流れを基本として配列されている点など、光村では、学習内容を振り返り、チェックできる欄が設けられている点など、日文では、学習するときのポイントについて文章で投げかけるなど、主体的な学習につなげられるよう配慮されている点などが挙げられます。

他の特徴につきましては、資料にございますのでご覧いただきたいと思います。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございます。

それでは、提出いただきました答申資料も含め、各委員からの意見を求めたいと思います。いかがでしょうか。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は、東書の「書写のかぎ」という部分がいいと思いました。東書3年生の表紙をあけてすぐの見開きをご覧くださいませか。ここで「書写のかぎ」とありますけれども、1年間の学習の見通しと、学習したことを生活に生かすイメージがすごくわかりやすく掲載されている点がすごく印象がよかったです。

また、各ページで「書写のかぎ」と左端にあるんですけども、学んだことをいつでも確認できるようになっていますので、そういうところもよかったですと思います。

以上です。

教育長（長谷雄二）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私、結構学生が鉛筆を持っている姿を見ると、持ち方がすごく乱れているなということが日ごろから気になっておりまして、特に鉛筆の持ち方に注目して比較して見させていただきました。

各社とも鉛筆の正しい持ち方について、写真や図を使ってわかりやすく示しておられるんですけども、中でも東書の1年生の5ページを見ていただきますと、左利きの児童向けの写真が大きく紹介されていて、そこがすごく左利きの方にとってもわかりやすい写真が掲示されているのではないかとこのように思いました。

教育長（長谷雄二）

今言われている東書のほうは、お手本の字がとても美しくてよいと思いました。ただ東書の教科書は幅広のサイズになって、大判で書き込みやすい反面、毛筆のときに机の上に道具を並べると、かえって場所をとって使いにくいのかなということも思いましたので。

ほか、授業に関連して。

山崎委員。

教育長職務代理者（山崎 貢）

書写の授業というのは時間数も限られていると思うんですけども、児童が実際に文字を丁寧に書く時間を十分確保することが少ない授業時間数の中で大切になってくるため、学習の目当てやヒントはシンプルでわかりやすく掲載されている教科書がかえって活用しやすいなと思います。

例えば3年生で取り扱われている毛筆の縦画の学習で各教科書を比較しました。その中で、日文は見開き1時間の学習内容がシンプルに示されています。日文の3年生の14ページ、これは1つの例なんですけれども、どの学年もそうなんですけれども、2ページで1時間の授業が終了するという、それで学習の目当ても「始筆・送筆・終筆に気をつけて、たて画を書こう。」と、非常に具体的でわかりやすく記載されているところが私はいいなと思いました。

教育長（長谷雄二）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私も日文が、紙面の情報量が授業で扱いやすい分量であるかなと思いました。東書、教出、光村、日文は筆使いの手本が擬音語とともに示されているんですけども、特に日文は擬音語で、一番初めの縦画のところに「トン」「スー」「ピタッ」というこの3つの擬音語を使って、適切な情報量ですっきり伝えているという点がいいなと思ったんです。現場では、「トン」とか「スー」とかというふうに擬音語で伝えることのほうが多いので、先生方にも活用しやすいかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

もう一回、また再度選定委員長に質問を答えてほしいんですけども、今回新しい学習指導要領で書写の部分で、知識及び技能において、低学年で運筆のいわゆる能力向上についての指導の工夫が取り上げられていますが、水書も扱

っている教科書があると思いますけれども、その点については何か報告ございますでしょうか。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

水書につきましては、全社で取り扱われていました。さらに、東書、教出、光村、日文では、低学年の巻末に水書用紙や水書シートが添付されております。

以上です。

教育長（長谷雄二）

そういうことですか。何かほかにどうでしょうか。

山崎委員。

教育長職務代理者（山崎 貢）

水書の指導により、低学年から「とめ」や「はらい」が何回も何回も意識できるのは大変よいことだなと思いました。

教育長（長谷雄二）

田川委員。

教育委員（田川宜子）

水書についてなんですけれども、水書用紙と水書シートが各社あるので、比較してみたんですけども、日文の水書シートは色もよくて、厚みも台紙がついていて使いやすいかなと。子どもたちが筆嫌いにならず使いやすいかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

そうしたら、再度質問させてもらいたいんですけども、今回中学校の全国学力・学習状況調査で、封書の宛先を書く問題が出題されました。今はもう封書でもコンピューターで出して、宛名も出てくるような時代であるんですけども、学習状況調査の中でそういう出題がされたら。書写で学んだことを、いわゆる実生活に生かすイメージを持たせることが大切だというふうに思いますが、その点でもし報告があればお願いします。

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

封書の宛先の書き方につきましては、東書では4年の39ページ、学図では3年生以上の巻末の折り込み、教出では6年の39ページ、光村では3年の19ページ、日文では6年の38ページでそれぞれ取り扱われております。

以上です。

教育長（長谷雄二）

山崎委員。

教育長職務代理者（山崎 貢）

今回のどの教科書も、いわゆる毛筆や硬筆で学んだことを日常生活に生かせるという視点が随分出ていると思うんです。先ほど出ていました封書の宛先についても、委員長から説明ありましたように、大体どの教科書も出ているんですけども、日文の縦書きと横書きの両方を扱っているところ、あるいは封筒やはがきを書く文字の大きさについて説明しているところ、そういうところなんかは本当に日常生活に関連した形で、そういった資料が日文には多く見受けられました。そういう点、よかったなと思います。

教育長（長谷雄二）

大体ここで書写、2教科で約45分、結構時間がかかっています。頑張ってください。

ほか、ご意見、書写にかかわってありますか。いいですか。

そうしたら、意見も出そろったようです。

今、東書と日文を推すご意見が多かったと思いますが、東書あるいは日文のどちらかで決定にしてよろしいでしょうか。

それでは、東書、日文のどちらかで決定に異議がないということで、挙手で採択をいたします。

東書がふさわしいとお考えの委員は挙手願います。

（賛成者挙手）

ありがとうございます。

日文がふさわしいとお考えの委員は挙手願います。

（賛成者挙手）

ということで、書写の教科書は日文を採択することに決定いたします。

続いて、社会の採択に入ります。

よろしいでしょうか。

それでは、引き続き社会の採択に入ります。

選定委員長、よろしく願います。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

では、社会につきまして報告いたします。

学習指導要領の目標では、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を迫及したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成すること」が求められています。

日本の領土につきましても、各社とも学習指導要領に適した記述がなされています。「平和で民主的」な児童の育成という点でも、目標に沿って課題解決に向けて取り組めるように工夫されています。また、「課題を迫及したり解決したりする活動」につきましても、単元の初めに学習の流れを意識できる工夫があり、児童が学習しやすく考えられています。地域教材や防災に関する教材につきましても、各社の工夫が見られました。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にございますが、例えば、東書では、主体的に発展的な学習ができるよう、コラムや資料が随所に示されている点など、教出では、各学年巻頭部分で社会科の学習の進め方が紹介されている点など、日文では、キャラクターの言葉が枠に囲まれ、対話する形で本文が展開する点などが挙げられます。

他の特徴につきましては、資料にございます

のでご覧いただきたいと思います。

教育長（長谷雄二）

社会のほうは3社ということでございます。
今の説明を含め、ご意見をお伺いいたします。
山崎委員。

教育長職務代理者（山崎 貢）

子どもたちが学習をしているときに、自分が知っていることや、あるいは自分にとって身近な課題として挙げられたときには非常に興味・関心を持って学んでいくことができます。

そのような観点からいいますと、日文の5年生では、西日本、中でも大阪に関する題材を多く取り扱っており、例えば179ページあたりの東大阪市、引き続いて大阪市、あるいは248ページでは堺市、それから引き続いて大和川流域の河川の問題と河内長野市、柏原市等の写真が掲載されています。

また、4年生につきましても西日本の記載が多く、自然を守る運動では、近畿地方ゆかりの歴史上の人物として南方熊楠や、あるいは華岡青洲といったなじみの深い先人について載せられています。そういう点で、非常に子どもたちにとっては身近な課題として学習していけるのではないかと思います。

教育長（長谷雄二）

井上委員、お願いします。

教育委員（井上寿美）

3年生になって初めて社会科という教科と出会うときに、やっぱり私も身近なものがないなというふうに感じました。日文は近畿地方の都市を扱った学習が3年生でもとても多く出ていて、例えば大阪、兵庫、和歌山などが取り上げられているところに、日文の身近に学びますよという工夫・スタンスをととても感じることができました。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

選定委員長の説明にもありましたように、全社で防災教育ということについて取り扱っていると思うんです。中でも日文は災害の種類をたくさん紹介していたなど、教科書を読ませてもらって思ったんです。

あと、東書なんですけれども、カードを使って避難所シミュレーションというのを扱っている学年があるんですが、児童が実際にもし避難をして避難所で生活をしましたという想定がされているんですが、想定することで災害に直面したときの自分の行動をどう生かすかということに活用できるなど。実際にすぐ活用できるものというので、避難所シミュレーションというカードはいいなと思いました。

教育長（長谷雄二）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

6年生の歴史学習のほうをずっと見ていたんですけれども、教出のほうは、例えば6年生の228ページです。穴埋め式で括弧のところを補おうとなっているんですけれども、キーワードというのをわかりやすく、個人的にはこれは覚えやすいと思いました。

あとは、歴史の流れをまとめるに当たって、こういう重要なところがわかりやすくなっているとまとめやすいと思います。

それと日文ですけれども、日文の歴史学習のほう、6年生のほうは、キーワードの意味について結構注釈がいっぱい入っていたんです。こういう注釈が豊富になっていますので、こういうところを児童が理解しやすく覚えやすいなというのはすごく感じました。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。

山崎委員。

教育長職務代理者（山崎 貢）

日文の6年の230ページに「世界のなかの日本とわたしたち」という単元があるんですけども、出てくる国の横に国旗の掲載があるのですが、大変見やすく、その国の概要が一目でわかるように工夫されていると、そんな感じを受けましたけれども。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。

社会科では、資料とか教科書を見るのが勉強という勘違いも多くて、ノートの指導が大切というふうに思いますけれども、調べ学習でまとめる力を育てることが大切という観点でいうと、その点、何かお気づきの点ありましたら、選定委員長、お願いしたいんですが。

選定委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

ノート指導についても比較されましたが、日文では、例えば6年生の131ページにありますように、子どもたちの使用頻度の高い方眼ノートを作成に使っていたり、同じく93ページにありますように、写真や資料を活用しているノートづくりをわかりやすく示しているという意見がありました。東書では、例えば22ページ、教出では30ページにノートの例が示されています。比較していただいたらよくわかると思います。教出は、委員のご意見にもありましたように、穴埋め式のノートの例となっています。

以上です。

教育長（長谷雄二）

何かノートのことでほかにございませんか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

ノートの例を比較してみたら、私は日文の例がとてもわかりやすいかなと思います。色分けの仕方とか改行の仕方、まとめ方も含めてよくわかるかなと。子どもたちがまねっこしてその

まま使えるような形をとっているかなと思います。

教育長（長谷雄二）

何かほかにご意見はございませんか。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

質問よろしいでしょうか。

社会科では話し合いの場面がとても多いと思うんですけども、各社の話し合いの場面の取扱いはどのようになっておりましたでしょうか。

教育長（長谷雄二）

田中選定委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

話し合い活動につきましても、各社とも多くのページで取り上げられておりました。同じ6年生で比較しますと、東書の77ページ、教出98ページ、日文83ページにそのイメージが示されています。

以上です。

教育長（長谷雄二）

井上委員、どうですか。

教育委員（井上寿美）

私はやっぱり、さつきから何かユニバーサルデザインの話ばかりしているかもしれませんが、そういう視点からいうと、児童のせりふが線で囲まれている日文が一番わかりやすいのではないかなというふうには思いました。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。よろしいですか。

一応ご意見をいろいろと、それぞれの教科書の特徴なり、良さをお話いただきましたが、総合的に日文を推しておられると私、認識しておりますが、それでいいですか。

もう今回挙手は要らないですか。

もし日文以外にご意見がないようでしたら、社会の教科書については日文としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

それでは、社会の教科書は日文を採択することに決定いたします。

続いて、地図の採択に移ります。

教育長（長谷雄二）

それでは、地図の後、暫時休憩をとりたいと思います。

それでは、田中委員長、お願いいたします。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

では、地図について報告いたします。

地図につきましては、各社とも学習指導要領の趣旨が十分に反映されており、自ら進んで学習に取り組めるよう創意工夫を凝らし、見やすく、わかりやすく、活用しやすい地図帳となっております。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にもありますが、例えば、東書は、統計のページでは、大きな文字で記載されており、都道府県ごとに行が色分けされているので見やすい点など、帝国では、市街地をあらわす黄色、平野をあらわす緑色、山地をあらわす茶色の色合いがわかりやすい点などが特徴として見られました。

他の特徴につきましては、資料にございますのでご覧いただきたいと思います。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございます。

各委員の意見を求めます。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

帝国書院なんですけれども、表紙のところの使用する学年として「3・4・5・6年」と表示されているんです。3年で地図帳を手にした子どもたちは、ほかの学年になっても、ほかの教科書と違って3・4・5・6と続けて使うんだという、6年生まで使うんだということがは

っきりしていて、私は継続して使うんだと思えていいかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

見てわかりやすい。ほかにございませんか。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

帝国には地図の見方や活用の仕方が随所に書かれていて理解を深めることができるかなということと、あと統計のページ、103ページなんですけれども、農産物の生産割合がグラフでずっと出ていてとてもわかりやすいなというふうに感じました。

教育長（長谷雄二）

ほか、ございませんか。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

産業や気候については東書のほうが詳しいように思います。あと、東書は和歌山の飛び地がわかりやすく明記されていて、私は個人的にはよかったです。

教育長（長谷雄二）

和歌山の飛び地。

教育委員（河合洋次）

和歌山の飛び地が、東書の32ページです。

教育長（長谷雄二）

三重県との話ですね。

教育委員（河合洋次）

そうです。三重県にある和歌山県の飛び地というのがわかりやすかったのです。

教育長（長谷雄二）

私のほうからは、領土の扱いというんですかね、両社がどのように扱われているか。

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

東書では15、16ページ、帝国では29、30ページに領土の境界線が示されています。また、東西南北各方位の端にある島の写真がどちらにも

掲載されていますので、児童が領土の範囲を理解しやすいように工夫されています。

以上です。

教育長（長谷雄二）

両者とも適切であるということで、わかりました。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

東書は立体的に、帝国は平面的に領土の境界線が示されていると思うんですけども、この場面で学ばせたいなと思っていることが領土のことであれば、子どもたちにとっては帝国のように平面のほうが見やすいのではないかなというふうに思いました。

教育長（長谷雄二）

毎回この採択のときに、質問するんですけども、大阪狭山市は非常に小さい市で、狭山にとっては大切な国の史跡指定されている狭山池についての表記はどうでしょうか。

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

それは委員のほうでも話題になりましたけれども、両社とも大阪狭山の表記はありますが、狭山池の表記につきましては帝国のみとなっております。

以上です。

教育長（長谷雄二）

きょうはいろいろな方が傍聴されていますけれども、狭山池は1社だけですか。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

はい。

教育長（長谷雄二）

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

やっぱり狭山池があるのとないのとではもう全然、本市の児童にとっては郷土の大切な日本最古の人工池ですから、記載があることが、私

は望ましいと思います。

それだけではなく、帝国の地図は非常にほどよい色合いで見やすい、地名も探しやすい、しかも大西洋を中心とした地図もあって、アメリカ大陸とヨーロッパの距離がつかみやすいと感じました。

そういった点で帝国のほうがいいですね。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。

ご意見伺っておりますと、帝国を推す委員がほとんどというふうに認識しております。

採決は要りませんね。

それでは、地図は帝国を採択することに決定したいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

それでは、地図は帝国を採択することに決定いたします。

続いて算数ですが、少し休憩をとりたいと思います。そうしたらトイレ休憩も入れて暫時休憩、再開は10時45分から再開をしたいと思いません。よろしくをお願いします。

（休 憩）

教育長（長谷雄二）

それでは再開いたします。

続いて算数の採択です。

選定委員長、報告をお願いします。

田中選定委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

では、算数について報告いたします。

学習指導要領では、「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成すること」を目指しています。

このことを踏まえ、各社とも児童が基礎的・基本的な知識や技能を定着できるようにするとともに、数学的な見方・考え方を身につけるこ

とができるよう、発達段階に応じて学習内容が工夫されていました。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元にありますが、例えば、東書では、巻頭の「学びのとびら」のコーナーで、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業展開を紹介している点など、大日では、低学年で「おうちで算数」のコーナーを設け、身の回りの生活や身近な課題を取り上げて、家庭学習につなげる工夫がされている点など、学図では、「なるほど算数」のコーナーを設け、児童の興味・関心が広がるようにしたり、中学校への接続を意識した学習が取り入れられていたりする点など、教出では、巻末の「学びの手引き」のコーナーで、図の描き方などつまずきやすいところを丁寧に説明している点など、啓林館では、巻末に「学びのサポート」のコーナーを設け、次の学習の準備や各単元の補充・発展問題に取り組めるようにしている点など、日文では、「次の学習のために」のコーナーを設け、前学習の復習と次の学習の準備ができるようにしている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましては、資料にご覧いただけますのでご覧いただきたいと思います。

教育長（長谷雄二）

意見を求めます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

各社の教科書を見ましたけれども、私は東書か日文がいいなというふうに感じております。

東書は別冊がございまして、何か1年生の最初に算数嫌いになってもらうと困るなど思う中で、本当に数ということについてとてもわかりやすく丁寧に説明されていました。最初の2単元をこのような別冊にすることで、すごく使いやすいし、意味のあるワークブックになってい

るというふうに感じております。

それから、例えば日文は時刻の学習のところなんですが、3年生の上の40ページから始まるんですが、1日の流れが絵で示されていて、自分の生活と結びつけて時刻を学べるのではないかというふうに思いました。

それから内容の構成では、3年生で小数と分数をどちらから先に学習するのかなという点で比較させていただいたんですが、東書も日文も小数を学習してから分数を学習するという順で構成されておりました。2年生で2分の1、3分の1など簡単な分数は学習しているんですけども、どちらが身近かといえば、例えば自分の身長が130.5センチとか体重が28.3キロとかというふうに、子どもたちにとってはやっぱり小数が身近だろうというふうに思いますので、より身近に感じられる小数から学習するのが自然でいいなというふうに思った次第です。

教育長（長谷雄二）

ほかにご覧いませんか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

私は東書か学図がいいなと思ったんです。

学図のほうは復習問題が充実していたなど。学力の定着を図る上で大変いいなと感じました。

あと導入に、どの学年を見ていただいてもいけると思うんですが、4コマ漫画を取り入れていて、単元前に児童の関心や意欲を高める工夫をしているのがすごくいいなと思いました。

一方、東書のほうなんですけれども、「マイノート」、6年の67ページなんですけど、よく考えられていて、使いやすいなと思いました。

また、井上委員もおっしゃっていたんですけども、私も1年生の単元2つだけが別冊になっているところが、いいなと思いました。机の上に別冊を開いて、その上にブロックなんかを置いて、操作しながら学習ができるという点も、

児童にも先生にも楽しく、算数嫌いなく取り組めるかなと思って、あと理解も深まるかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は啓林館か東書かなという印象でした。

東書については井上委員もおっしゃっていましたが、1年生の別冊ですね。これは子どもたちがつまずきやすいところを別冊にして、算数嫌いをなくすというところでは、すごく評価できると思います。

あとは、啓林館についてはデジタルコンテンツも含めて問題数が豊富ですので、反復学習がしやすいと思います。反復学習でつけたい力を定着させていくには啓林館が一番いいかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

私はいろいろ、中身じゃなくて色使い云々では、比較的東書の色使いというのは非常に優しい感じがして見やすいなというふうには思いました。

先ほどの教科でも質問させていただいたんですけれども、本市は算数・数学については全国学力・学習状況調査も非常に良好であるといいながら、先ほどお話ししました主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりということで、算数領域についても各学校いろいろ研究実践していただいているんですけれども、またその観点から何かご報告する点があれば、おっしゃっていただけたらと。

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

その点も各社とも配慮されています。

東書では、生活の中にある算数やこれまでに学習してきたことなどについて、話し合いながら目当てをつくって、課題解決的に問題に取り

組んでいく構成となっています。

大日本では、身近な生活の中で出てくる疑問を導入で扱い、課題解決的に問題に取り組んでいく構成となっています。

学図では、タイトルを問題として、生活の中や算数の中から問題を見つけ、「知りたいな」「くらべたいな」などの中で課題解決的な問題に取り組んでいく構成となっています。

教出では、各単元前の「どんな学習がはじまるのかな？」で身近な題材から問題を見つけ、課題解決的に問題に取り組んでいく構成となっています。

啓林館では、各単元の導入のページで身の回りの疑問からみんなで考える問題を設定し、課題解決的に問題に取り組んでいく構成となっています。

日文では、「次の学習のために」というふうにして、これまでに学んだことを振り返った後、単元の導入で操作活動や身の回りの観察など課題を見つけ、課題解決的に問題に取り組んでいく構成となっており、各社とも工夫されています。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございます。

今、委員長のほうからご報告いただいたんですけれども、比較的東書は目当ててがはっきりと書かれていますし、目当てやまとめを大切にしたのは本市の授業にはふさわしいのかなというふうには感じていました。

東書の2年生の上の12ページ、買い物の場面を扱うところなんか、なかなか楽しいというか、非常に実生活に結びつくような良さも感じました。

もう絶対東書と推しているわけではないんですけれども、あと、ご意見あればおっしゃっていただいたら。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

大日本だけが全ての学年が1冊で構成されている。ちょっと1、2年生で1冊はどうかと思うんですけども、既習事項を振り返るという点では、高学年なんかは1冊でも中学校につながるということでもいいかなと思いました。

総合的に見たら、やっぱり東書か日文かなと私は思いました。

東書は、先ほど教育長の話にありましたように、非常に見やすい。特にグラフとかが非常にわかりやすく鮮明であると、そういう点ではすごくいいなと思いました。

日文では、どの学年だったか、牛乳パックのリサイクルとか、そういう日常的な、算数を環境問題として捉えて算数の授業につなげていくという、生活と密着しているという点が結構多く取り上げられていたように思います。子どもたちが身近なものとして算数を学んでいくように思いました。

また、巻末の「算数マイトライ」かな、これは子どもたちが授業を進める上で、大変イメージを持って見通しを立てやすくしているのではないかと思います。

以上です。

教育長（長谷雄二）

はい、ありがとうございました。

今、結構いろんな教育番組やら情報等でもプログラミング教育を取り上げられていて、全国的には公立より先にプログラミング教育の塾もすごく今できているというふうに聞いていますが、このプログラミング教育はいわゆる論理的な思考力を身につけるということが目的で学習活動を重視されているんですけども、その点について、もしお答えできるようでしたら。

委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

答申資料にもありますように、プログラミング教育につきましては全社で取り上げられておりました。

東書は5・6年生で、大日本は1年生から6年生、学図は1年生から6年生、教出は5年生、啓林館は5・6年生、日文は5年生でそれぞれプログラミングに関連する内容を掲載しています。

以上です。

教育長（長谷雄二）

会社によっては学年の取り上げ方もちょっと違いはあるということです。わかりました。

何かそのほか。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は東書の6年の242ページ、特にこのプログラミングはとてもわかりやすいと思いました。

あと気になったのは、学図のほうは発達段階に対してプログラミングの内容がちょっと難しいかなと。プログラミングの内容が難しいと、本来の算数の学習に対しても苦手意識が生じるのではないかという危惧もありますので、やっぱりわかりやすい内容にプログラミングもしたほうがいいと思います。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。

プログラミング学習については、私もその項目をちょっと見ましたら、頭が古いのか、なかなか、子どもができるのかなという部分も、河合委員おっしゃるように少しあったんですけども。

ほか、もしご意見あれば。

ということで、そうしたら意見も出そろったということで、私の記録では東書、それから日文、啓林の3社を推すご意見のように思いましたが、3社のいずれかで決定をするということでもよろしいでしょうか。

では、挙手をお願いいたします。

東書がふさわしいとお考えの委員、挙手願います。

(賛成者挙手)

啓林館がふさわしいとお考えの委員、挙手願います。

(賛成者挙手)

日文がふさわしいとお考えの委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

以上をもちまして、算数の教科書は東書を選択することに決定いたします。

続いて、理科の採択に移ります。

それでは、理科は5社でございます。

田中委員長、報告をお願いいたします。

小学校教科用図書選定委員長(田中典子)

では、理科について報告いたします。

各社とも学習指導要領の「自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成すること」という「目標」及び「内容等の取扱い」に示された事項は過不足なく取り上げられていました。

各社、理科の授業の流れがわかりやすく記されており、児童の自然に対する興味・関心や、問題解決の意欲を喚起できるように、美しい写真やイラストが有効に使われています。また言語活動にも配慮し、主体的・対話的で深い学びの実現にポイントを置いた活動が多く見られました。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にあります。例えば、東書では、単元導入の「レッツスタート!」では、興味・関心を高める簡易的な体験や資料性の高い写真を取り上げている点など、大日本では、予想場面では、必ずグループワークの様子を載せている点など、

学図では、単元末に「できるようになった」で学びを振り返り、自らの経験と関連づけて考えることができるようになっている点など、教出では、各学年の巻頭に「自分たちの考えをつたえ合い、学び合おう」を設け、言語活動の充実を図っている点など、啓林館では、星の学習で、国語教材の「銀河鉄道の夜」を取り上げ、他教科との連携を図っている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましては資料にございます。ご覧いただきたいと思っております。

教育長(長谷雄二)

はい、ありがとうございます。

それでは、理科について意見を求めます。

田川委員。

教育委員(田川宜子)

3年生で初めて理科という教科に入って学ぶわけなんですけれども、まとめたりするというのが理科の特性ではないかなと思うんです。各教科書で最初に学習の学び方が示されているんですけれども、子どもの興味・関心を引いてわかりやすいのが啓林館かなと思いました。例えばなんです、3年生の16ページ、「たねまき」というところがあるんです、そこに植物の種をまいてからの観察の仕方は、時期によって観察のポイントがわかりやすくずっと見通しがつく配列で順を追っていつているなど。これが見やすくていいなと思いました。

教育長(長谷雄二)

山崎委員。

教育長職務代理者(山崎 貢)

観察でいったら、どの教科書もそういった植物の成長過程があるわけなんですけれども、東京書籍の4年生の、表紙もいいんですけれども、子どもの表情がどの学年も。表紙をめくったら、「コップがあせをかいている?」とか、5年生でいくと「どこまでがなまたまご?どこからが

ゆでたまご？」とってこういう観察をして、本当に身近な現象について触れているということところがすごく、身近な現象なんだけれども、おやと思うような、そういう感じをうまく取り上げているなと思いました。どの学年もそうなんですけれども、非常に子どもの興味・関心を引くためによい工夫だなと思います。

ちょっと質問なんですけれども、その学年での理科でつきたい問題解決の能力について、児童がどのような考え方で思考していくのか明確にしていく必要があると思いますけれども、いわゆる理科についての学習過程の取扱いについて、各社どうなっているか、ちょっと教えてください。

教育長（長谷雄二）

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

各社とも問題解決的な学習過程となるように工夫されています。

東書は「問題をつかむ」「調べる」「まとめる」、大日本は「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」、学図は「みつけよう」「調べよう」「まとめよう」、教出は「問題をみつける」「考えをつくる」「考えをたしかめる」「わかったことを表す」、啓林館は「見つける」「調べる」「ふり返る」という形を進め方の基本とした単元構成となっています。

以上です。

教育長（長谷雄二）

はい、ありがとうございます。

ほかに、ございませんか。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は啓林館がわかりやすいなというふうに思いました。

啓林館の3年生の44ページをあけてもらおうと、「風の力のはたらき」という単元がございま

て、ここで学習過程の流れを上から下の矢印にずっと示されていて、やっぱりユニバーサルデザインの観点から、いろんな子どもたちにとって、これはすごくわかりやすいのではないかなというふうに思いました。

教育長（長谷雄二）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

目次にちょっと注目して見てみると、東京書籍の目次が、何か裏表紙のほうにあるんですね。これは探したいページを見つけないときに、ぱっと裏表紙を見て検索できるんで、扱いやすいかなというのを感じました。あとは啓林館も目次をわかりやすくまとめられていますし、さくいんから検索することも工夫されているように思います。

教育長（長谷雄二）

扱いやすさでいうと、理科では教科書や資料集は図鑑的に使うこともあります。そういったことを考えますと、巻末の資料など写真の質や大きさがいいのは啓林館かなと私は思いました。これは理科の教科書としては非常に重要な要素であるというふうに考えています。

東書では、赤ちゃんの子宮での様子が実物大であったり、教出の人体の図も、実はあれは実物大でした。かなり迫力ありましたが、子どもが実際に観察する場面を想定したときには、啓林館の巻末の資料の植物などの観察カードというのが非常に持ち運びしやすく、実際に出ていって見るのにはすごく便利だなというふうに思いました。一番最後のところにあります。

どうでしょうか、その辺りで。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も啓林館と東書のいずれかかなというふうに思っています。2社について、ノート指導のところに着目してみました。

東書のほうは6年生の202ページに「友達のくふう」、啓林館は6年生の同じく202ページなんですけど、「わたしのくふう」というのがございます。両者ともノートの指導がとても充実しています。ただ啓林館はコンパクトでわかりやすく、教科書のサイズとしては扱いやすいなというふうには思っています。

教育長（長谷雄二）

はい、ありがとうございます。

ほか、どうですか。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

子どもたちが興味を持って学習に臨むということだけでなく、自分の考えをどのように表現していくかという点で、今、井上委員言われたように、ノート指導というのは大事だと思うんです。私もノートのまとめ方や作り方については、各社どの教科書も工夫しているということがわかりました。中でも、導入から予想、実験の手順や方法、結果など一連の理科の思考の流れが、写真や資料をもとにわかりやすいなど、表現の仕方としてノートのまとめ方だけでなく、伝えるときのまとめ方や話し合いの仕方など、最も充実しているのは啓林館だと思います。全体的に内容が豊富で、写真や資料も充実しており、理科の授業で活用しやすいと思います。

以上です。

教育長（長谷雄二）

はい、ありがとうございます。

ほか、どうでしょうか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

子どもが日常的に触れる身近な題材も多く扱われている啓林館は、いつもこればかり言っておしわけないんですけども、私も子どもを持っている親として、経験の浅い先生でも取扱いやすい内容になっているかなと思いました。

あと、外へ観察に行くよと言われてたときに、邪魔にならず、持ち運びのしやすい大きさだなと思って、啓林館のほうが使いやすいかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

はい、ありがとうございます。

ほか、どうでしょうか。よろしいですか。

例年、理科はなかなか選定でいろいろ意見も出るんですが、今回は何か啓林館を推すというご意見が多かったように思いますが、よろしいですか。

それでは、ご意見を伺っておりますと啓林館を推す委員がほとんどのようですので、理科につきましては啓林館としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

それでは、理科の教科書は啓林館を採択することに決定いたします。

続いて、生活の教科書の採択に移ります。

それでは、委員長、お願いします。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

では、生活について報告いたします。

学習指導要領では、「具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成すること」を目指しています。

このことを踏まえ、各社とも自分自身と身近な人々、社会及び自然とのかかわりを大切に編集されています。また、子どもの気づきを大切にしながら学べるように工夫されており、幼児期の教育や3年生以上の学習とのスムーズな接続にも配慮されています。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にもありますが、例えば、東書では、児童の状況に応じて、発展的・選択的に活用できる活動例が示されている点など、大日本では、随所に

絵や言葉だけでなく、多様な方法で表現を楽しむ場面（動作・劇）が掲載されている点など、学図では、「ものしりノート」で、活動のヒントがわかりやすく示されている点など、教出では、思考ツールなど、思考を可視化させる工夫が掲載されている点など、光村では、各単元で学んだことをシールに記入して、振り返られるように工夫がされている点など、啓林館では、下巻巻末の「がくしゅうずかん」で、社会科の4年生につながるよう、リサイクルの資料が掲載されている点など、日文では、小さな遊びの要素を取り入れ、「立体的なしかけ」がされている点などが特徴として挙げられます。

他の特徴につきましては、資料にございますのでご覧いただきたいと思います。

教育長（長谷雄二）

全7社ということでございます。

それでは、ご意見をお伺いいたします。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

各社の教科書を手にして確認したんですけれども、東書の装丁が一番いいと思いました。というのは、写真も大きいですし、絵もきれいで見やすいと感じました。あと東書のこのおまけみたいな「ポケットずかん」ですか、巻末について外せるみたいなんですけれども、これは結構、実際に子どもが外に持って行って使えそうですし、内容としても季節ごとの身近な植物の絵や生き物の写真なんか実物大で掲載されていますので、子どもがこれを持って外へ行って観察すると、子どもの観察力がすごく高まるんじゃないかなということを感じました。

教育長職務代理人（山崎 貢）

すみません、これ外して使えるのかな、ポケットずかん。

教育委員（河合洋次）

外せないのか。

教育長職務代理人（山崎 貢）

外せそうな感じ……、そうか、難しいのかな。

教育長（長谷雄二）

外せません。

教育長職務代理人（山崎 貢）

外せない。

教育委員（河合洋次）

すみません。外せないと、これごと持っていないといけませんね。

教育長職務代理人（山崎 貢）

これごとでもいけるね。

教育長（長谷雄二）

では、ほかの視点で。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私、家庭における家族の取扱いがどうなっているのかというのをちょっと比較検討してみました。子どもたちの中には社会的予後の子どもたちもいて、なかなか自分の家族としての家庭で過ごすことが難しい子どもたちもいる中で、非常に関心の高いところだったのでいろいろと見てみたら、啓林館がバランスよく取り扱われているのではないかというふうに思いました。

啓林館の上の86ページのところなんですが、「ひろがれ えがお」という単元で、家族の笑顔の写真や絵を集めて、家族の一員として自分ができることを考えるというふうな構成になっています。とても自然な取扱いがいいなというふうに思いました。

それから、ちょっと観点が変わるんですけれども、日文の下の135ページなんですが、点字が実際に触れることができるようになっていきます。これはもう本当にいい工夫だなというふうに思いました。

以上です。

教育長職務代理人（山崎 貢）

ちょっと質問よろしいですか。

教育長（長谷雄二）

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

3年生以降の社会科とか理科との関連という点では、各社どのような取扱いになっていますか。

教育長（長谷雄二）

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

社会科とのつながりでは、まち探検や防犯・防災教育の安心・安全、それから理科では植物や生き物の観察、ゴム・空気・風などの力が各社とも盛り込まれています。

以上です。

教育長（長谷雄二）

私は3年生以降との学習の関連では東書が充実しているのではないかと思います。

例えば上の72ページに、身近な自然の中で遊ぶ学習を通して、自然には地域の特色や季節の変化があることに気づき、理科の見方・考え方につながっていく姿が、挿絵や吹き出しで構成されているので、子どもたちが非常にイメージを膨らませやすく、いいと感じました。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

まちや自然の様子を季節ごとに同じ視点から見つめて変化に気づかせていけるようなページが各社とも多くの教科書で盛り込まれていたんですが、その中で啓林館あたりが何か私はすっきりしていていいなというふうに思いました。

1年間の一番最後のまとめのところなんかもちよっと見せていただきますと、児童の成長と振り返りを確認するページが各社ともあるんですけども、啓林館の下の94ページのところなんですけど、このまとめ方というのはやっぱり生活科の目標にとっても合ったような形のまとめ方をしているのではないかなというふうに思っ

ています。

教育長（長谷雄二）

3年以降との関連ということで、井上委員のほうからちょっとご意見もありましたが、そういう同じような観点で何かあれば。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

生活科って、保育所とか幼稚園からのつながりという観点も必要かなと思うんです。その点でいうと、啓林館の教科書というのはこうしたつながりをうまく踏まえたつくりになっているなど、読ませてもらって感じたんです。

スタートカリキュラムというところに応じたページは各社あるんですけども、啓林館の上の、先ほど井上先生がおっしゃった部分ですが、就学前の園児の写真というのもたくさん使われていて、つながっているという観点がよくわかるかなと思いました。

あと、上下の巻末で「かくしゅうずかん」というコーナーで、人への感謝やマナーだとか言葉遣い、記録の仕方とか道具の使い方、乗り物に乗ったときなど、さまざまな社会の中で暮らしていく中でルールというのがあるんですけども、そういうのもわかりやすく表記されているかなと思って。特に低学年なんかにはわかりやすいかなと思って読ませていただきました。

教育長（長谷雄二）

はい、ありがとうございます。

ほかはございませんか。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

表紙も子どもの笑顔がもう上下とも啓林館のほうのは笑顔いっぱいですね。それから写真やイラスト、あるいは子どもたちの表情、そういうのを全体的に見たら啓林館の教科書が大変生き生きしている。いわゆる子どもたちが見て楽しくて、活動のイメージも膨らませるような写

真やイラストが多く載せられているような気がいたします。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうですか。

7社のうち、東書と啓林を推す意見が大勢を占めていたと思いますが、東書、啓林で採決してよろしいでしょうか。

それでは、生活の教科書に東書を推薦する委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

続いて、啓林館を推薦する委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

生活科は、啓林館を採択することに決定いたします。

続いて、音楽の採択に移ります。

それでは、田中委員長、よろしく申し上げます。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

では、音楽について報告いたします。

両社とも学習指導要領に示された音楽科の目標である「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成すること」を目指して、発達段階を踏まえて目標が達成できるよう教材を充実させています。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元の資料にあります。例えば、教出では、「音楽のおくりもの」という表題を含め、音楽と関連させて子どもたちにメッセージを伝えようとしている点や日本の音楽とともに世界各地の歌や楽器を多く紹介している点など、教芸では、写真に歌詞の文字が重なる場合に、見えやすいような工夫をしている点や民謡や日本の楽器などを重点的に紹介している点などの特徴が見られました。

他の観点の特徴につきましては資料にござい

ます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（長谷雄二）

ただいま報告がございました。音楽については2社でございます。

意見を求めます。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

まず、教出の教科書は、「富士山」とか共通教材を大きな写真を用いていたり、あとは透明シートを使ったページがあったんですけども、そういった児童の興味・関心を高める工夫がすごく多く見られた印象です。

教芸の教科書についてですけども、共通教材について語句の説明を記載するとか、基本的な事項はすごく丁寧に扱われていて、誰にも使いやすいなという印象を持ちました。また、淡い色彩を使ったイラストが結構多かった印象です。見やすい教科書になっていると感じました。

教育長（長谷雄二）

どちらもいいといえいいということですね。ほかにございませんか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

教芸は、見開きで左ページに曲があって、右ページに学習する事柄が記載されているという構成に、私は、あ、そういうふうになっているんだなととったんですけども、この曲を学習したことを通して何を学習するのかというのが、これを見るとわかりやすいのかなと思いました。

教出のほうは、例えばなんですけども、1年の68ページなんですけど、「さんぼ」という有名な曲があるんですけど、見開きの左ページに楽譜、右ページに手話とか、下に足踏みのマークがあって足踏みのイラストが記載されていたりとか、工夫されているなと思って、1つの曲でいろいろ学習できる、工夫されているなと思いました。

あと5年の8ページなんですけれども、共通教材の「こいのぼり」の教出と教芸、どちらも共通教材で「こいのぼり」があるんですけれども、歌詞に出てくる「いらかの波」についてダイナミックな写真が使われていて、よくわかって、これはすごくいいなと思いました。

あと、1つ質問いいですか。

各社の共通教材の扱いというのはどうなっているのでしょうか。

教育長（長谷雄二）

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

学習指導要領には、斉唱及び合唱で歌う曲として、各学年4曲ずつ共通教材が示されています。両社とも共通教材につきましては写真や楽譜を載せて、児童が興味を持って取り組めるように工夫されています。

以上です。

教育長（長谷雄二）

はい、ありがとうございます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は日本の音楽と世界の音楽の扱いにちょっと注目して見てみました。

教芸のほうには日本の音楽という表記で雅楽、それから伝承音楽などを多く扱っていて、教出は日本の音楽と世界の音楽のバランスがいいなというふうに思いました。

例えば4年生の42ページをあけていただきたいんですけれども、日本のお祭りの音楽を挙げて、続く隣のページにはサンバの音楽を挙げてくるといふような感じで、対比できるようになっています。すごく日本と世界の音楽のバランスが工夫されているなというふうに思いました。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうですか。

山崎委員。

教育長職務代理者（山崎 貢）

私は子どもたちが学習の見通しを持つための工夫はどうされているかという点で注目しました。

教出には、目次にそれぞれの題材でつけるべき力が示されています。教芸は、巻頭のほうに学習内容が示されている。どちらも工夫されていて、今回の学習指導要領の改訂にあるように、自分で身につけるべき力を意識することについては両社とも重点を置かれているなと思いました。

教科書のサイズで見ますと、教芸は全学年同じサイズになるのに対して、教出は3年生以上が大きなサイズになっています。サイズが大きくなることによって、楽譜なんかも複雑になるのがわかりやすく見えやすいから、そちらのほうがいいかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

「君が代」の扱いのところをちょっと比較させていただいて、両社とも適切に扱われているなというふうには思ったんですけれども、教出のほうがより自然な形で学べるのではないかなというふうには思いました。歌詞の意味だとかさざれ石の写真なども掲載されているので、何となくただ歌うだけじゃなくて、歌の意味も理解させる配慮がなされているのではないかなというふうに思いました。

教育長（長谷雄二）

子どもころ、「こいのぼり」なんか「いらかの波と」って何にも意味がわからず歌って、初めてこういうことだというのはよくわかるんですけれども、ほか、ご意見ございませんか。

ご意見を伺っておりますと、教出を推す委員がほとんどと認識しましたが、よろしいですか。

音楽は教出を採択することに決定したいと思

いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

それでは、音楽は教出を採択することに決定いたしました。

続いて、図画工作の教科書の採択に入ります。

選定委員長、お願いします。

小学校教科用図書選定委員長(田中典子)

では、図画工作について報告いたします。

学習指導要領では、「表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成すること」を目指しています。

このことを踏まえ、各社とも発達段階に応じた身近な材料を題材に取り上げ、児童が造形的な視点について理解し、創造的につくったりあらわしたりすることができるよう工夫されております。また、児童の安全の確保や事故防止についても配慮されていました。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元にありますが、例えば、開隆堂では、「みんなのギャラリー」で、児童の関心が高まるよう、全国の図工の取組みが掲載されている点など、日文では、「教科書美術館」に、鑑賞の対象となる絵画や立体作品、身近な自然の造形などが掲載されている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましては、資料にご覧いただけますのでご覧ください。

以上です。

教育長(長谷雄二)

図工につきましては2社からということでございまして、ご意見をお願いします。

河合委員。

教育委員(河合洋次)

私は図画工作で扱う道具の使い方のほうの説明に注目して両社比較したんですけれども、開隆堂のほう、1・2年生の上の52ページと、日

文1・2年生の上の64ページをご覧ください。

開隆堂のほうについては、はさみの使い方について安全面と片づけの方法までわかりやすく丁寧に説明されています。その後、54ページです。54ページでは、でん粉のり、液体のり、スティックのりというふうにさまざまなのりがあるんですけども、これの特性に合わせた使用方法を詳しく説明されているんですよ。これは両社比較したところ、道具の使い方の説明については開隆堂がとても参考にしやすいと思いました。

教育長(長谷雄二)

どうでしょうか。

田川委員。

教育委員(田川宜子)

私は教科書全体についてなんですけれども、両社ともすごく光沢のある紙を使用して、紙面がとても鮮やかだと思ったんです。特に日文はどのページを開いても写真がすごく美しいというかきれいなんですよ。写真とマークのバランスがとてもいいと感じました。表紙もですけれども、作品のテーマがとてもわかりやすくすてきだなと感じました。

以上です。

教育長(長谷雄二)

はい、ありがとうございます。

山崎委員。

教育長職務代理人(山崎 貢)

私も日文の写真が非常にきれい、美しいなと思いました。

各学年の表紙の裏のところに、先ほど委員長のほうからも話がありましたように、折り込み閉じでどの学年もあるんですけども、「教科書美術館」というものがありまして、もうあけた途端に何か想像できるような写真や絵がたくさん載っていて、子どもたちによっては非常に親しみやすく取り組める、そういう点では非常

に「教科書美術館」は魅力的だなと思いました。

教育長（長谷雄二）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は1年生の粘土を使った表現活動について比較してみました。開隆堂1・2年生上の22ページ、それから日文が1・2年生上の18ページをご覧くださいきたいと思います。

開隆堂の教科書ではケーキや動物など、非常に子どもの身近にあるものを粘土を使って表現する活動が紹介されているんですけども、日文では粘土という教材が持つ性質のおもしろさとか、子どもの工夫、発想がとても大事にされているというふうに思いました。日文では子どもが表現を楽しむ様子や工夫している様子が吹き出しでも示されていて、創作活動の参考になるのではないかとこのように考えました。

教育長（長谷雄二）

私も日文は児童の創作意欲を大切にしているという点ではよいと思います。ただ両社ともグループによる創作活動というのは取り扱っているし、今、はやりというよりも、そういうことはやらなければならないということなんです、その場合、評価という点で、グループでの創作活動をやっている、個々の児童に対してどのような評価を行うかが課題と考えますが、その点について何か、もしご報告があれば。

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

その点につきましては、全学年で造形遊びというのが位置づけられておまして、材料や場所、空間などの特徴をもとに、造形的な活動に主体的に取り組むこととされています。その過程で言語活動の充実を目指し、でき上がった作品だけではなくて、企画するためのレポートや発表、鑑賞した内容を評価することが大切であると考えられておりますので、この点について

の研究がさらに必要だと思います。

以上です。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございます。

いわゆる単にでき上がったグループでの作品を評価する作品主義でなくて、今おっしゃったのはよくわかりました。ただグループ制作においては、個々の児童の評価を現場が行いやすいよう、学習の目当てあるいは活動内容については、両社ともさらに工夫するべき必要があるのではないかとこのように私は思っています。

ほか、ご意見等がございましたら。

なかなか、それぞれいいということですので、もう採決させていただきます。

開隆堂がふさわしいとお考えの委員は挙手を願います。

（賛成者挙手）

ありがとうございます。

日文がふさわしいとお考えの委員は挙手願います。

（賛成者挙手）

ありがとうございます。

それでは、図画工作の教科書は日文を採択することに決定いたします。

続いて、家庭科の採択に入ります。

委員長、よろしくお願います。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

では、家庭科について報告いたします。

学習指導要領では、「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することを目指す」ことを目標としています。今回の改訂では、社会の変化に配慮した生活に関する内容や、情報技術の高度化に対応した内容について充実が図られており、児童が実際の生活において主体的に課題を発見し解決できる能力を育成する

ために、問題解決的な学習をより一層充実させる必要があります。

このようなことを踏まえて、両社とも児童の関心や意欲を高めながら問題解決的な学習ができるように構成されております。さらに安全・防災教育についての内容も充実されています。

選定項目に沿った両社の特徴はお手元にあります。例えば、東書では、児童が見通しを持って学習できるよう、学習の進め方として3つのステップで構成され、「活動 深めよう」で学びを活用し、深い学びの実現ができるよう工夫されている点など、開隆堂では、学習の順序として3つのステップで構成され、「考えよう」「調べよう」「話し合おう」など、わかりやすく課題が設定されている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましては、資料にご覧いただけますのでご覧いただきたいと思っております。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございました。

意見をお願いします。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

開隆堂のほうは各単元が「なぜ整理・整とんをするのだろう」とか「なぜ調理をするのだろう」「なぜミシンでぬうのだろう」といった問いかけから始まっているところがとてもよいと感じました。身の回りをきれいにしようと言われるよりも、やっぱり「なぜ」というところが問題意識を持って考えて取り組んでいくのではないかなというふうに思います。

開隆堂の30ページのところなんです、問いかけの後に手順が見開きで掲載されていて、話し合うポイントもわかりやすく示されているというふうなところがいいなというふうに感じました。

教育長（長谷雄二）

どうでしょう。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

東書のほうは、大変読みやすい構成になっているなど感じました。教科書サイズが少し大きいので写真が大きくて、情報量がすごく多いんですね。すごく親切丁寧で、大人でも使いたくなるかなというような印象を受けました。

教育長（長谷雄二）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私も東書はわかりやすいと感じました。例えば手縫いの手順があったんですけども、一つ一つ手順を詳しく示されて、子どもにとってもこういうのはわかりやすいかなと思っています。

教育長（長谷雄二）

ほかどうですか。

山崎委員。

教育長職務代理者（山崎 貢）

しっかりと見ていたら、東書は調理の順番が非常にわかりやすい。教科書のサイズをうまく生かしているなというように思います。

教育長（長谷雄二）

どうでしょうか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

今は東書の話だったんですけども、開隆堂のほうも言わせてもらってもよろしいですか。

教育長（長谷雄二）

はい。

教育委員（田川宜子）

見方を変えたらなんですけれども、初めて調理器具とか裁縫道具を使う小学生、5年生になって初めて使うんですけども、今度逆に情報量が多いと、かえって目の行きどころがわかりにくいかなというのも言えるのかなと思ったんです。そうすると開隆堂はすごくシンプルで、

どこに注目すればいいかというのが、目の行きどころがよくわかるなと思いました。

あと開隆堂のほうは、「レッツトライ」というところで、学習と実際の生活を結びつける内容というのが示されている点も、いいなと思いました。

以上です。

教育長（長谷雄二）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

ちょっと全体的なところじゃなくて個別の単元の部分なんですけれども、東書の34ページ、「買い物の仕方について考えよう」の単位についてですが、売買契約の成立時期が、結構明確にわかりやすく書いてある点を私は結構評価しています。商品を受け取った後、自分の都合だけで一方的に商品を返すことはできないので注意しましょうと書かれていますけれども、これは大人の方でもまだ契約書を作成できないから簡単に撤回できると勘違いしている方も結構いらっしゃるんで、子どものころからこういうのをしっかり教えていくのも重要ななと思いました。

あと一点、ちょっと気になったんですけれども、開隆堂のほうなんですけれども、61ページ、同じ買い物の単元なんですけれども、売買契約の法律にかかわる人として司法書士さんが登場しているんですけれども、司法書士さんは売買契約書の作成とか売買契約後の移転登記とか、そういったことを委託されるのが原則ですので、法律事務とか「困りごとを法律を使って助ける」とありますけれども、法律事務全般にかかわってくるのは弁護士ですので、ここに載せるのが適切なのかといえば、司法書士より弁護士を載せたほうがいいかなと私は思いました。

教育長（長谷雄二）

教育委員イコール弁護士さんとしてのご意見

です。

ほか、どうでしょうか。よろしいですか。

ちょっと甲乙つけがたいということですので、今のところ。

大阪狭山市は給食でいわゆる食物アレルギーの除去食を実施しているという観点で、子どもたちが、バイキング給食とか身近な問題として食物アレルギーについて関心がある中で、食物アレルギーの記述というのはありましたか。

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

調理実習では、これは大変気になるところでして、中学校でも小学校でもそれは注意しているところなんですけれども、開隆堂では16ページの卵料理の実習の単元で、安全マークをつけて、本文から特別に取り出して食物アレルギーについて書かれています。東書では15ページの本文の中で食物アレルギーについて書かれています。

以上です。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございます。

ほか、どうですか。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

食物アレルギーについて取り上げている点では開隆堂のほうがよくわかるかなと思いましたけれども、食事の役割や栄養を考えた食事などは、食育に関する内容についても開隆堂が詳しく取り上げて、先ほど教育長が言われた112ページ、本市のバイキング給食とよく似た写真が大きく掲載されています。本市の学校給食とも共通しているので、食事の役割を知ったり、食事の大切さに気づかせるということは大変大事なことで、こういう取扱いをしてくれるとうれしいなと思いました。

教育長（長谷雄二）

はい、ありがとうございます。

開隆堂のほうはいわゆるQRコードから動画を見ることができるので非常にわかりやすいんで、一定授業に活用できるかなという思いはありました。

ほか、もし、そろそろまとめていきたいと思うので、ご意見があれば。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

もう一点、開隆堂を推すという点では、裁縫のときの糸の結び方なんですけれども、玉結びの仕方というのがあって、開隆堂のほうが私はわかりやすかったです。私も昔うまくできなくて、指で隠れる部分も示されているという点がわかりやすいし、それができない子は普通に結ぶ、別の方法も示されている。

環境問題なんかも丁寧に扱っていますし、先ほどから算数の中でプログラミング教育というのがありましたけれども、ここに、128ページに生活の中のプログラミングということで、身近な例として、ご飯とみそ汁を同時につくってみようという、これがプログラミングかと。思いもしないところで、こんな日常生活の中でプログラミングがあるんだなということで、そういう身近な例をご飯とみそ汁で挙げている点が非常に評価できるなと思いました。

教育長（長谷雄二）

いろいろ聞かせていただいてありがとうございます。

2社ですし、意見が出終わったように思います。もう採決を行いたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、家庭科の教科書に東書を推薦する委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

続いて、開隆堂を推薦する委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

それでは、家庭科の教科書は開隆堂を採択することに決定いたします。

続いて、保健の教科書の採択に移ります。

それでは、田中委員長、お願いします。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

では、保健について報告いたします。

学習指導要領では、「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成すること」を目指しております。

このような観点を踏まえて、各社とも子どもたちの発達の段階に配慮した指導内容の工夫や体系化を図っておられます。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元にあります。例えば、東書では、読解の段階でつまづかないように、教科書の内容について文節の区切りで改行している点など、大日本では、各章の初めに、学習の内容を子どもたちの生活につながるのがあるインパクトのある写真とともに示されている点など、文教社では、「新しい自分にレベルアップ」というコーナーで、自分を振り返る工夫をしている点など、光文では、児童が自分事として日常生活で起こり得る場面をストーリー化し、関心を高める工夫をしている点など、学研では、「もっと知りたい・調べたい」で、学習したことを広げたり深めたりできる工夫をしている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましては、資料にございますのでご覧いただきたいと思います。

教育長（長谷雄二）

保健につきましては、全5社からの選定でございます。

意見をお願いいたします。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は思春期における性の悩みについて各社比べてみました。

光文は3・4年生の28ページのところですが、思春期における体の変化について、わかりやすい写真と絵、グラフで説明されていて、人それぞれ成長の仕方だとか異性に対する関心が異なるんだよということがわかりやすく書かれていていいなというふうに思いました。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

今の思春期の悩みについては学研のほうも非常に詳しく取り扱われています。

学研の3・4年生で26、27ページ、それから5・6年生で15ページというように、ちょうどこのあたりから子どもたちの体にいろいろ変化が出てきて悩みもふえていく中で、非常に適切な取扱いがされていると思います。

ところで、保健の授業時数というのはどれぐらいに現在なっていますか。

教育長（長谷雄二）

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

3・4年生では年間それぞれ4時間、5・6年生では年間8時間となっております。

教育長職務代理人（山崎 貢）

少ないね。授業時数はそんなに少なくて、これ教科書できるのかなと思うんですけども、そういう点では光文の分量のほう扱いやすいかな、一番。そんな感じもします。

教育長（長谷雄二）

ほかにございませんか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

東書なんですけれども、東書の3・4年の教科書を見てみますと、直接書き込みができるん

です。それがいいかなと思いました。

今、時数のことを聞いたので、3・4年生は8時間しかないということでしたので、書き込めると、別にプリントをつくってそこへまた書かないといけないとなると大変なので、ここへダイレクトに書き込めるとコンパクトに授業を進めやすいかなと思って、これは時数になぞらえたらいいかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

学研の5・6年生でたばこの喫煙の害についてかなり詳しく書かれています。喫煙の危険性については、特にQ&Aで書かれているところがわかりやすいと感じました。

また、ちょうど高学年あたりでいろんな悩みが出てくる中で、こんな人が相談できるよということで、学校医の先生とか養護教諭とか、自分の身近な学校生活の中で相談できる先生方がそばにいるということがわかって、大変親しみやすいなと思いました。

教育長（長谷雄二）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私は光文が文章を簡潔にまとめられていてわかりやすい、読みやすいと感じています。

あと、光文の3・4年生の7ページで、例として挙げますけれども、これから単元で学ぶことがイラスト、ストーリー形式で示されているんですけども、この点も児童にとって、子どもたちにとって親しみやすくわかりやすいんじゃないかと考えています。

教育長（長谷雄二）

授業時数の問題もあるんですけども、この光文は内容は非常にコンパクトな反面、子どもたちによる調べ学習の場面ではちょっと活用しにくいのではないかなと思いました。

私はそういう部分では資料が充実している学研の教科書が、特に高学年などでは授業がしやすいのではないかとこのように考えています。

ほか、どうでしょうか。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

最近特にAED、もちろん各学校に設置されているんですけども、どの教科書を見ても取り扱われていますけれども、光文の5・6年35ページに掲載されている埼玉県さいたま市のASUKAモデルというのが紹介されている。これはいいなと思いました。児童のAEDへの関心をより高めるかな、よいきっかけになるのではないかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。

そうしたら、意見も出そろったようです。それぞれの委員のほうからのご意見を伺っておりますと、光文か学研というご意見でしたので、どちらかで決定したいように思いますが、ご異議ございませんか。

それでは、光文がふさわしいとお考えの委員は挙手願います。

（賛成者挙手）

学研がふさわしいとお考えの委員は挙手願います。

（賛成者挙手）

保健の教科書は光文を採択することに決定いたします。

続いて、新しい教科、英語に入ります。

それでは、委員長、よろしく申し上げます。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

では、英語について報告いたします。

学習指導要領では、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーション

を図る基礎となる資質・能力を育成すること」を目指しています。

このことを踏まえ、各社ともペアワークやグループワークなど、主体的・対話的で深い学びを実現する学習形態や、新出言語材料の分量や提示の仕方について工夫しています。また、学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程を振り返ったり、学んだことを実際のコミュニケーションに活用したりできるよう配慮されています。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元にありますが、例えば、東書では、各単元の「Starting Out」で、外国語活動でなれ親しんだ語彙や表現を繰り返し登場させ、振り返ることができるよう工夫されている点など、開隆堂では、各単元で、ターゲットになる英語表現を使った活動を繰り返し、基礎的な技能が身につく内容となっている点など、学図では、巻頭に「クラスルーム・イングリッシュ」が取り扱われており、英語が身近に触れられるよう工夫している点など、三省堂では、巻頭に「教室で使う英語」が取り扱われており、英語が身近に触れられるよう工夫している点など、教出では、5・6年冒頭の「Let's Start Together」で、アルファベットや物の名前を中心に、外国語活動で学んだことを振り返ることができるよう工夫されている点など、光村では、そのUnitで「できるようになること」や学習の流れを示し、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている点など、啓林館では、単元導入の「Listen and Guess」がクイズ形式で示されており、児童が取り組みやすいよう工夫されている点などが挙げられます。

他の特徴につきましては、資料にございますのでご覧いただきたいと思います。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございました。

意見のほう、よろしく願います。

山崎委員。

教育長職務代理者（山崎 貢）

質問なんですけれども、小学校の英語については今回初めて教科書採択となりました。小学校3・4年生で実施されている外国語活動や、あるいは中学校英語とのスムーズな接続の観点から、選定委員からはどのような意見があるでしょうか。

教育長（長谷雄二）

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

今回の学習指導要領の改訂で、5・6年生で英語が教科化され、外国語活動が3・4年生で前倒して実施されることになりました。小学校英語の目標を達成し、中学校英語へ円滑に接続していくためには、英語嫌いを生み出さない小学校英語の授業づくりが大切だと考えております。そのためには、小学校段階で過度に読むこと、書くことを押しつけないこと、3・4年生の外国語活動でなれ親しんだ聞くこと、話すことを中心に授業づくりを進めること、この2点が大切であるという意見がありました。

以上です。

教育長（長谷雄二）

はい、ありがとうございます。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私も聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能のバランスがそれぞれの発達段階に応じて適切に取り扱われていることが大切だというふうに思いました。

各社で取り扱われている小学校の思い出紹介の単元で、4技能の取扱いのバランスについて比較してみました。小学校の思い出紹介は東書、開隆堂、それから学図、三省堂、教出、啓林館それぞれに掲載されているんですけども、バ

ランスがよいなと思ったのは、光村なんです。

光村の6年生の80ページをご覧いただけたらと思います。

この80ページを見ていただきますと、光村のほうでは「Let's watch.」「Let's listen.」で言語材料について見たり聞いたりした後、「Let's chant.」「Let's play.」「Let's try.」と段階を踏んで、だんだん言語材料で友達とやりとりできるように展開していっています。書く活動は、授業の最後に児童の負担にならない程度に取り扱われています。Step 1、Step 2で言語材料に十分なれ親しんだ後に、単元の後半で読むこと、書くことについて深めていく単元構成となっていて、児童の発達段階に配慮されているというふうには思いました。

教育長（長谷雄二）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私も光村はわかりやすいと思います。見開き2ページで1時間の授業のスタートからゴールまで、児童が展開を見通しやすいレイアウトになっていると思います。あと各社とも登場人物をすごい工夫されていると思うんですけども、1つの教科書で絵のタッチが多岐にわたって変わってくると、子どもは混乱すると思うんです。その点でも、光村は教科書全部見ましたけれども、絵のタッチにまとまりがあるように私は感じました。

あと、質問なんですけれども、他の科目と同様に英語も全社QRコードを掲載してウェブサイト上で補充・発展的な内容を取り扱っているんですけども、これについて何か選定委員会には意見はありましたか。

教育長（長谷雄二）

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

英語では、各社ともウェブサイト上で各単元

の言語材料の音声データを取り扱っており、授業中に再生してネイティブの生きた英語に触れることができるようになっていきます。従前から外国語活動の授業では、リズムに合わせて言語材料を口ずさむチャンツの学習などでネイティブによる音声データ等のデジタル教材の使用場面が非常に多くなっています。そのため、英語の教科書の選定に当たっては、ウェブサイト上で用意されているデジタル教材の内容や授業での活用のしやすさについても検討したほうがよいのではという意見がありました。

以上です。

教育長（長谷雄二）

どうでしょうか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

今、ウェブサイトのお話が出たので、ウェブサイト上のデジタル教材で特徴的だなと思ったのは東書と光村かなと思います。

東書のほうは、例えば6年の64ページなんですけれども、Unit7「My Best Memory」の導入で「Starting Out」というところなんですけれども、2人のネイティブによる言語材料のやりとりのモデルが映像とともに紹介されるんですが、この映像で実際の授業場面でもタブレット端末でQRコードを読み取って手軽に児童に見せて活用ができるなと思いました。

光村のほうは、例えば6年生の80ページ、Unit7の「My Best Memory」、同じなんですけれども、導入の「Story」というところで登場人物が言語材料を使って会話する様子をアニメーションでこちらも紹介しています。光村は5・6年生通じて「Story」と「Let's watch.」で親しみやすいキャラクターが英語でやりとりする場面をアニメーションで見せることができるので、児童も取り組みやすくして学習意欲を高められるかなと思うんです。スムーズ

な授業導入もオーケーなんじゃないかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

山崎委員。

教育長職務代理者（山崎 貢）

先ほど英語嫌いをつくってはいけないという話がありましたけれども、私は書く分量について比較しました。中学生なら短時間で英語を書けるようになっておりますけれども、小学生においては書くとなったら一定の時間が必要だと思うんです。書く時間が多くとられると、本来のアクティビティな時間が減ってしまう。英語の目標とずれてしまうように思います。その点、光村は読む、書くの分量も適切だし、中学校に向けての英語嫌いをつくらないようバランスよく構成されていると思います。

また、光村の教科書の本体とデジタル教材は非常に相性がいいなと感じました。毎回見る、聞く、話す、書くといった学習活動がもうルーティン化されていて、英語はこのように勉強するんだ、このように活動できるんだという、子どもたちが見通しを持って楽しく授業に参加できるように思いました。

教育長（長谷雄二）

どうでしょうか。

ご意見を伺っておりますと、ほぼどの委員も光村というご意見というふうに認識しました。

よろしいですか。

それでは、英語につきましては光村としたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

英語の教科書は光村を採択することに決定いたします。

続いて、最後になります道徳の採択に移ります。

それでは、田中委員長、よろしくお願ひします。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

では、道徳について報告いたします。

学習指導要領では、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」ことを目指しています。

各社とも問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れ、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されています。また、全学年でいじめについて取り扱われており、発達段階に応じていじめをしない、許さない意欲や態度を育むように配慮されています。

選定項目に沿った各社の特徴はお手元にありますが、例えば、東書では、巻頭に「道徳の学習を進めるために」が掲載されており、話し合いの約束などがわかりやすく提示されている点など、学図では、「道徳の学習を始めよう」が巻頭にあり、学習の進め方や学級づくりのゲームなどが紹介されている点など、教出では、内容項目で教材配列をまとめることで、道徳的価値を深められるようになってきている点など、光村では、道徳の学習を1年間で4つのまとまりとし、学校生活と関連させて学びをつなげていけるように配慮されている点など、日文では、低学年でロールプレーの例が示されており、体験的な授業展開の参考とすることができる点など、光文では、目当ては児童が思考しやすいよう、問いかけの表現となっている点など、学研では、児童自ら課題を見つけ、考え、議論して思考を深めていけるような、問題解決的な学習の道筋を「道徳の学習がはじまるよ」のページに提示している点など、あかつきでは、学校行事と関

連させることができるよう、教材の配列が配慮されている点などの特徴が見られました。

他の特徴につきましては資料にございます。ご覧いただきたいと思います。

教育長（長谷雄二）

それでは、各委員の意見を求めます。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

質問ですけれども、前回も道徳の教科書には別冊とか別冊ノートとかがあるのとなないのがありますけれども、その後、学校現場から選定委員のほうに何かご意見等があったでしょうか。

教育長（長谷雄二）

田中委員長。

小学校教科用図書選定委員長（田中典子）

賛否の両方が意見としてあると思います。別冊があるとワークシートを作成する手間が省けて授業づくりがしやすいという考えを持つ教員もいます。一方で、別冊がないほうが児童の実態に応じて学習過程を組み立てることができるので授業づくりがしやすいという考えを持つ教員もいます。

教育長職務代理人（山崎 貢）

ということは、別冊については賛否両論があるということですね。ですから、別冊があるかないかで、今回もあまりそれで判断しないほうがいいなと思います。

私は、道徳の授業については、できるだけ子どもたちが発言したり、あるいは話し合ったり、あるいは活動したりという、そういう場面がこれから大事かなと思います。

各教科書とも35時間用の資料があるわけですが、一つ一つ1時間で終わってしまうかなという、そういう心配もあるんですけれども、もちろん全部できなくても構わないと思うんですけれども、資料の理解というか、前もお話ししましたけれども、国語的な読み取りの時間

にあまり時間をとられたらいけないと思うので、できるだけ、いわゆる発問あるいは問いかけが絞られたほうがいいかなと。

今回見ていたら、かなりの教科書が絞ってきている。前回の道徳の教科書に比べたら随分絞られてきているので、そういう点ではよくなってきたなど。ですから、資料理解については1つ、せいぜい多くても2つ、それからそれに基づいて自分の考えを述べるとか自分の気持ちを述べるとか生活を振り返るとか、そういった点で1つか2つというようなこと、そういう点で考えたら、いわゆる発問だけで考えたら学研、光文、日文、東書、このあたりが非常によく絞られているなどと思いました。

学図については、資料の長さが2ページのところ非常多くて、これは子どもが理解する上で非常に負担が少ないなど。あんまり資料が長かったら読み取りに時間がとられるので、学図が一番そういう点では、いわゆる資料の長さという点ではかなり配慮されているなどと思いました。

以上です。

教育長（長谷雄二）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

今、山崎委員のお話にもございましたように、子どもたちが十分に話し合っ、自分のことも考えながら、いろいろな意見交換する、考える道徳みたいところを考えると、私は学研がいいなというふうに思ったんです。

学研は巻頭の目次に教材の内容項目を記載してはいないので、本当に授業で自由に議論し合っ、ってしてくれることになった。例えば1年生の92ページの「はしの上のおおかみ」というのがあるんですけども、これは教材名の横に、主題名ではなくて「あなたとわたし」というふうにしか掲載されていないんです。他社では例

えば「親切」という価値なんかが出ているんですが、それを伏せているということで、子どもたちが内容項目に縛られずにいろんな角度から道徳的価値について考えることができるのでいいのではないかというふうに思いました。

教育長（長谷雄二）

河合委員。

教育委員（河合洋次）

私も学研がいいかなと思います。

学研のほうは、紙面の構成がシンプルですがわかりやすいと思いました。あとおおむね文字、写真もとても見やすい印象です。あとは教材の最後の発問で「考えよう」というところなんですけれども、シンプルですし、登場人物の気持ちを考える発問をまずして、児童自身の考えを問う発問、2種類、これはまたシンプルで、児童で考え方を強制させるようなものでもないですし、自由に考えることができるいい発問例じゃないかなと私は思いました。

教育長（長谷雄二）

あと、どうでしょうか。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

私は1年生の「かぼちゃのつる」という教材、こちらにこだわってみて各社比較をさせていただきました。それぞれ扱われてはいるんですけども、やはり今、河合委員のお話にもあったように発問例を見ますと、学研では、児童自身の考えを問う発問として「かぼちゃさんに、どんなことをおしえてあげたらいいのだろう」というふうに、本当に子どもたちがこういうことが起こったよ、そういう中で自分たちは、自分を振り返ればどんなふうに考えていくのかなというのが、発達段階に応じてうまく取り扱われているように思いました。道徳的価値を押しつけられるというよりも、考えていくことで自分で気づいていけるような、そんな工夫が発問の

中でされているというふうに感じました。

教育長（長谷雄二）

私は、各社のいじめの取り扱った教材の内容を比較しました。

どの社ともいじめについては取り扱っているんですけども、道徳授業そのものの授業展開というのはいろんな現場での方法なり意見の違いはあるんですが、あくまでも道徳という時間の観点からいうと、学級指導の時間ではありませんので、いわゆる具体的な、現実に子どもが日常的に起こっているものを道徳教材として扱うと、少し道徳そのものが子どもたちにとって重いもの、つらい時間という感じ方も一面あるという、私は一つの意見として持っておりますが、そういう点で、学研は物語教材だけでなく、演出家の宮本亜門さんとか、それからオリンピック選手の増田明美さんとか、いわゆる著名人からのメッセージ、子どもに夢を与えるという部分も含めて、高学年の授業では私、すごく活用しやすいのかと。

先ほどどなたか委員がおっしゃったように、もうこれはこういう狙いで、こんなことを先生は自分らに理解させようとしておるんやなということで、本当に主体的に学ぶという部分で学研の教材が適当ではないかというふうには考えました。

ほか、どうでしょうか。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

同じく学研の、ちょっと意見のほうを。

各学年なんですけれども、巻頭に「道徳の学習がはじまるよ」というページが学研は見受けられていて、そこに児童自ら課題を見つけて考えを議論して思考を深めていけるようになってるのが、これはいいなと思いました。

また、その後に引き続き「マイプロフィール」と、あと巻末の「心の宝物」という、自分

のことは見つめるきっかけづくりになるところがあるんですけども、それも、なかなか自分のことを書いてみるということって難しいんです。大人になっても難しいというか。そういうのも活用しやすくいいかなと思いました。

教育長（長谷雄二）

ありがとうございます。

ほか、どうでしょうか。

意見がないようです。教科書の選定とともに、いわゆる道徳の子どもへの評価という点で、本市では共通課題として各学校で取り組んでいたという状況でございます。

学研を推す声がほとんどというふうには認識しておりますが、よろしいでしょうか。

それでは、道徳の教科書は学研を採択することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

道徳の教科書は学研を採択することに決定いたしました。

長時間にわたり、ありがとうございました。

では、各種目の採択結果について確認を行います。

採択しました教科書は、国語、東京書籍、書写、日本文教出版、社会、日本文教出版、地図、帝国書院、算数、東京書籍、理科、新興出版社啓林館、生活、新興出版社啓林館、音楽、教育出版、図画工作、日本文教出版、家庭、開隆堂出版、保健、光文書院、英語、光村図書出版、道徳、学研教育みらい。

以上でございます。よろしいでしょうか。

長時間にわたり、ありがとうございました。

教科書採択に係る議案は以上でございます。

暫時休憩いたします。

この後、まだ議案のほうは二つ、三つ残っておりますが、暫時休憩で、もしよければ引き続き傍聴していただいても結構ですし、暫時休憩

しておりますので、傍聴人で必要な方は退出していただいで結構でございます。

(休憩)

教育長（長谷雄二）

それでは、会議を再開いたします。

続きまして、日程第3、議案第7号、大阪狭山市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程についてを議題といたします。

担当者に説明を求めます。

北野課長。

教育総務グループ課長（北野真也）

それでは、議案第7号、大阪狭山市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程についてご説明をさせていただきます。

資料につきましては、74ページから77ページまででございます。

まず、一部改正の主な理由でございますが、市長部局におきまして、契約事務に係る専決事項等の見直しが行われ、市の事務決裁規程の一部が改正されることから、その整合性を図るため所要の改正を行うものでございます。

次に、改正の詳細について説明させていただきますので、75ページから77ページの新旧対照表をご覧ください。

別表1、第6条関係の共通専決事項の第3項、財務に関する事項でございますが、現在、専決事項の第11号のイでは「物品購入の施行決定及び契約締結に関する事」と規程しておりますが、これを「業務委託の施行決定及び契約締結に関する事」に改め、物品購入に関する事については第11号のウで、「物品購入・修繕及び印刷製本の施行決定及び契約締結に関する事」に改めます。

また、ウの担当課長の欄で定める専決の金額が「50万円未満」から「80万円未満」に引き上げられることから、これを改めるとともに、主管部長の専決の金額についても「80万円以上」

から「300万円未満」に改めます。

次に、改正後の第11号のエでございますが、現行では物件の借入れの施行決定及び契約締結に関する事の規程がございませんでしたが、新たに専決事項として規程し、主管部長及び担当課長の専決の金額についても市長部局の改正に準じ、規程いたします。

また、第11号の以下の事項については、新たに物件の借入れの施行決定及び契約締結に関する事の専決事項を追加規程したことによる列記事項区分のかな順のずれを改めるとともに、現在、下水道使用料は水道料金の請求に含まれて請求されており、予算執行上の性質としては光熱水費となることから、文言の整理を行っております。

次に、改正後の第12号でございますが、現行では給付の検査に関する事項についての規程がございませんでしたが、市の改正に準じ、工事の検査に関する事項のほか、物品購入、物件の借入れ、その他それぞれの区分に応じた専決の金額等を新たに規程するものでございまして、現行の第12号については、これによる号ずれの改めにより、第13号とするものでございます。

最後に附則でございますが、本規程の施行期日については令和元年8月1日と規程させていただきます。

以上、まことに簡単な説明ではございますが、ご審議くださいますようよろしくお願いいたします。

教育長（長谷雄二）

ただいまの説明について、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

ご質問、ご意見がないようですので、本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

日程第3、議案第7号、大阪狭山市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程については承認されました。

続きまして、日程第4、議案第8号、大阪狭山市日本遺産認定検討会議設置規程についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

谷次長。

教育部次長兼歴史文化グループ課長（谷 義浩）

それでは、議案第8号、大阪狭山市日本遺産認定検討会議設置規程についてご説明させていただきます。

日本遺産は、地域の歴史的の魅力や特色を通じて文化や伝統をストーリーとすることで有形・無形の文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図ることを目的として文化庁が認定するものでございます。

平成27年度から来年度、2020年度までに100件の認定を目指しており、今年度新たに16件が認定され、これまで83件が認定されております。

本市におきましては、本年度申請を行いました。残念ながら認定されませんでした。来年度認定を受けるため、庁内の関係部署からも意見や提案を求め、申請に必要なストーリーなどをより充実した内容にするため、日本遺産認定検討会議を設置するに当たり、規程を設けるものでございます。

資料につきましては、79ページ、80ページになります。

第1条では検討会議の設置について、第2条では所掌事務について、第3条では組織について、第4条では委員長等について、第5条では会議について、第6条では庶務について、第7条では委任について規程しております。別表では委員の職務に当たる者について規程をいたし

ております。

以上、簡単な説明になりますが、ご承認願いたくお願い申し上げます。

教育長（長谷雄二）

ただいまの説明について、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

これは最後、ラストチャンスになるんですか。

教育長（長谷雄二）

谷次長。

教育部次長兼歴史文化グループ課長（谷 義浩）

一応は来年度で終わりと聞いておるんですけども、ただこの制度が東京オリンピックが終わったらまだどうなるかわかっていないところもありまして、とりあえず今の時点では最後ということで理解しております。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。

これは「検討」なんですか、「推進会議」ではないのですか。

谷次長。

教育部次長兼歴史文化グループ課長（谷 義浩）

あくまでストーリーの内容をすごく検討したいという意味で「検討」という名前にさせていただいております。

以上でございます。

教育長（長谷雄二）

わかりました。

ほか、どうでしょうか。

それでは、ほかにご意見、ご質問等がないようですので、本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

日程第4、議案第8号、大阪狭山市日本遺産認定検討会議設置規程については承認されました。

続きまして、日程第5、報告第8号、大阪狭山市立中学校部活動指導員配置事業実施要綱についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

尾島課長。

教育部副理事兼学校教育グループ課長（尾島肇）

それでは、報告第8号、大阪狭山市立中学校部活動指導員配置事業実施要綱についてご説明いたします。

資料は81ページから83ページでございますので、ご覧ください。

本実施要綱は、6月議会におきまして、中学校部活動指導員配置事業に係る補正予算が承認されたことに伴い、事業実施のための要綱を定めたものでございます。

こちらは第1条につきましては、部活動指導員を配置することにより、部活動の指導体制の充実及び教職員の負担軽減を図るといふ本事業の目的について定めております。

第2条には、部活動指導員の根拠についてお示ししております。

第3条につきましては、部活動指導員として雇用される者の資格を定めております。

第4条には、部活動指導員の職務内容を定めております。

第5条には、部活動指導員の勤務日等の割り振りについて定めております。

第6条には、基本賃金について定めております。

第7条には、要綱に定めるもののほか、指導員の雇用に関し必要な事項につきましては、市アルバイト職員雇用要綱に定めている旨を示しております。

以上、簡単な説明ではございますが、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

教育長（長谷雄二）

山崎委員。

教育長職務代理人（山崎 貢）

今までも部活動に対する指導員は配置されておりましたね。それについての、いわゆる実施要綱はなかったんですか。

教育長（長谷雄二）

尾島課長。

教育部副理事兼学校教育グループ課長（尾島肇）

これまでは学校ボランティアとして部活動指導支援員という形で日額2,000円で、他のボランティア人材と同様にお手伝いいただいていたんですが、こちらは文科省の補助金交付も受けられる、大きな特徴としましては、生徒の試合への引率等も可能になるというような部分で、今回要綱を定めて実施してまいるものでございます。

以上でございます。

教育長（長谷雄二）

この要綱に基づいて、果たしてそれに合致した人材を確保できるかどうかという課題は生じるんですよね。

尾島課長。

教育部副理事兼学校教育グループ課長（尾島肇）

やはり部活動を担える方が確保できるかというところが一番課題ではありますけれども、今、各校のニーズを聞きながら人材に当たっていただいているところではございます。

以上でございます。

教育長（長谷雄二）

ほか、どうでしょうか。

井上委員。

教育委員（井上寿美）

要綱に入れるべきことであるかどうかというのはわからないんですが、この方たちの研修ということは実際どういうふうな形で考えていられるのだろうか。それが要綱に入っていたほうがいいのであれば入れていただきたいというふうには思ったんですけども。

教育長（長谷雄二）

尾島課長。

教育部副理事兼学校教育グループ課長（尾島肇）

文科省の事業交付金の取得に対しては、人材の研修、体罰の禁止等、そういったものもきちりやっていくようにというような項目もございますので、ちょっと要綱には反映しておりませんが、そちらのほうも実施してまいりたいと考えております。

以上でございます。

教育長（長谷雄二）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

それは要綱に反映する必要があることなのか、したほうがいいことなのか、ちょっと私自身は今、判断つきかねるので、確認させてください。

教育長（長谷雄二）

尾島課長。

教育部副理事兼学校教育グループ課長（尾島肇）

ちょっと確認させていただきたい。ほかにも同様の要綱があるんですけども、研修について定めているかどうかというのは、他のものも見ながら。

教育長（長谷雄二）

もしよければ、隅田参事、言ってください。

学校教育グループ参事（隅田よし子）

今、課長から説明ありましたとおり、国のほうでは必ず指導員の方についての研修は必要となっております。また、この要綱をつくる際に

は研修を、委員ご指摘のとおり、入れることも検討しましたが、必ず研修はしてまいりますので、あえて入れてはおりません。その他教育委員会が定める事項ということで、実施はしてまいる所存でございます。

教育長（長谷雄二）

どうですか。

教育委員（井上寿美）

その他教育委員会が定める事項というところでということであれば。私は何か要綱として、もう実態として絶対必要だと思うし、体罰だけじゃなくてプライバシーのところなんかかなり研修の中では必要だろうと思うんです。それが、だから要綱に入れるべきかどうかというのがちょっと私自身もよくわからないので、皆さんにご検討くださって一番いい形にさせていただけるのかというふうに思っております。

教育長（長谷雄二）

参考までに、こちらからご指名で、教育総務グループ課長、何か意見ありますか。

北野課長。

教育総務グループ課長（北野真也）

人事を担当している担当者としての意見として聞いていただけたらなと思っておりますが、身分的には非常勤職員という位置づけになっております。当然のことながら、職員であれば研修を受ける義務・権利というのはございますので、あえてご指摘いただいているような要綱に規定してまで示すものではないという理解をしております。

以上でございます。

教育長（長谷雄二）

よろしいでしょうか。

ほか、ご意見ございませんでしょうか。

それでは、ほかにご意見、ご質問等がないようですので、本案を原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。

日程第5、報告第8号、大阪狭山市立中学校部活動指導員配置事業実施要綱については承認されました。

本日の議案は以上でございます。長時間にわたり、ありがとうございました。

これをもちまして、本日の教育委員会定例会議を閉会いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、署名する。

教育委員会教育長

教育委員会 委員

教育委員会 委員

教育委員会事務局職員